

岸和田市の公共施設に関する市民アンケート調査

集計結果

平成28年1月

岸和田市

目 次

アンケート付属資料	3
アンケートの概要	6
アンケートの結果	
I あなた自身のことについて	7
II 岸和田市の公共施設に思うこと	11
III 公民館について	14
IV 学校について	22
V その他の施設について	28
VI 適正配置の取り組みについて	29

公共施設の適正配置に取り組んでいます。

1.取組の経緯

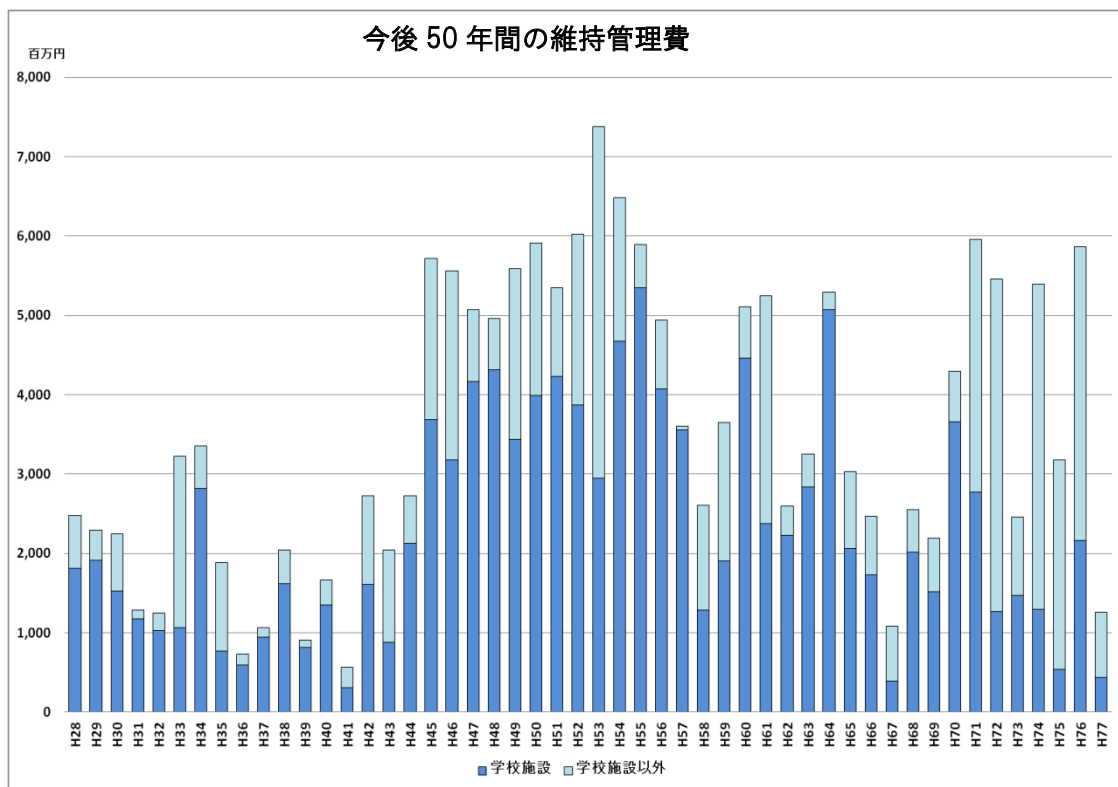
市が保有する公共施設の多くがこれから耐用年数を迎えます。保有総量の適正化を図り、将来の維持管理コストを縮減しなければ施設の運営が難しくなります。そこで、市では施設ごとに今後のあり方を定め、適正な配置の実現に向けて検討しています。

2.財政状況と施設の維持管理費

施設ごとに将来的な維持管理費を算出した結果、平成 28 年度からの 50 年間で、**総額 1,778 億 9 千万円(年平均 35 億 6 千万円)**の負担が必要であることが算出されました。

一方で、平成 26 年度までの直近 5 年間の決算状況の内、実際に公共施設に掛けられた維持管理費を見ると、5 年間で**総額約 73 億 9 千万円(年平均約 14 億 8 千万円)**です。

つまり、持続可能な施設の維持管理を実現させるためには、必要な費用と実際掛けられた費用の差(年平均約 20 億 8 千万円)を埋めなければならず、収入確保と同時に公共施設の総量削減も含めた支出削減を進めなければなりません。



※ 建築後、65 年で建替・更新、施設ごとの各部位の適正な修繕周期に合わせて修繕を実施することを条件に、平成 28 年度から 50 年間の維持管理費総額を表している。

3.総合計画の中での公共施設

本市は南北に細長い地形で、地域ごとの風土や成り立ちがそれぞれ違います。市の最上位計画である総合計画では『特色のある6つの地域を、地域的なまとまりを考慮し、日常生活が営めるコミュニティ単位として設定』しており、それぞれに本庁舎と市民センターが配置されています。

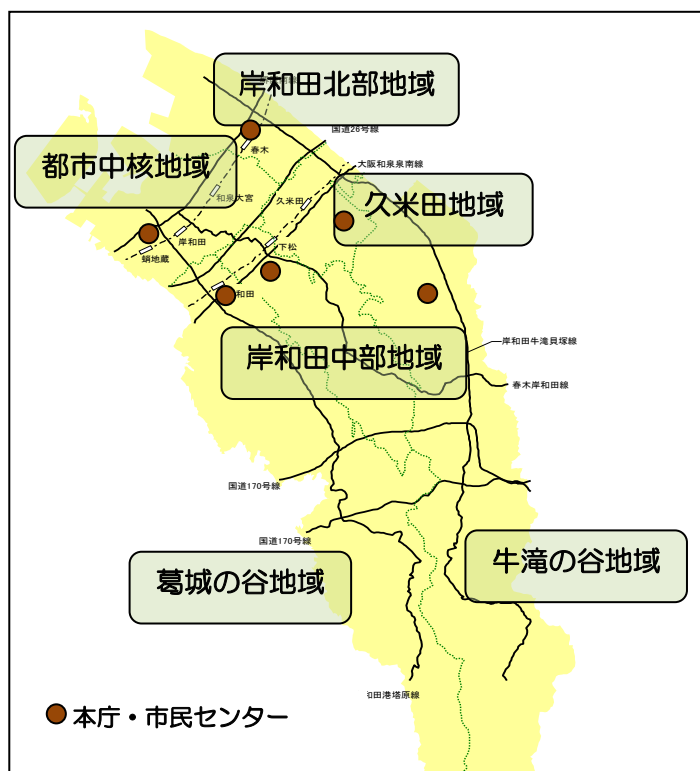
4.地域の特性から見た施設配置の課題

右の地図を見ると、浜手と山手でそのエリアが大きく違います。市民センターが地域の拠点となるよう配置されましたが、山手、特に、葛城の谷と牛滝の谷では、各地域の拠点となる市民センターまで距離がある等、身近に立ち寄るような施設配置になっていない地域もあります。

解決方法として、より細かな範囲でそれぞれに拠点となる施設を建設することも考

えられますが、市の財政状況を見る限り、その体力はありません。現有施設をいかに有効活用させるかが重要なポイントです。

図1：総合計画で位置付けられている「6つの地域」



地域の特性を考えた施設の再配置を目指します。

1.高齢者の移動に配慮した適正配置

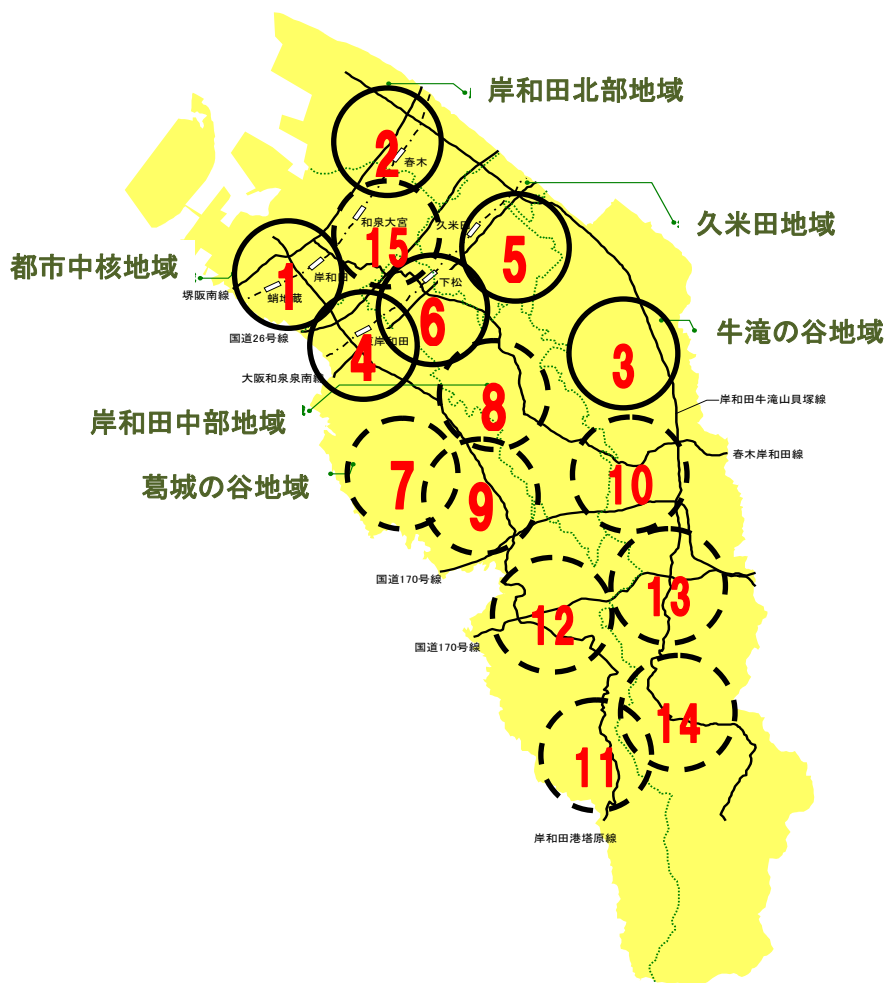
高齢者の方が、徒歩で1時間以内に移動できる範囲は約1kmといわれています。そこで、市の財政状況を踏まえ、地域の皆さんが不便を感じない施設の適正配置を検討するにあたり、人口密度等を考慮した半径1kmの範囲の円で示した15の圏域を右図のように設定し、地域コミュニティ活動の拠点となる施設を位置付けます。

位置付けにあたっては、市では概ね小学校区ごとに地区公民館等が整備されてきた経緯があり、地域の活動場所として活発に利用されている状況に着目し、位置付けに向けて建物の運営面での課題も抽出しながら、施設の再配置を進めたいと考えています。なお、圏域によっては地区公民館がないところもあるので、既存の公共施設(学校教育施設等)、それに代わる拠点とする施設の検討をしなければなりません。(No12～No15の圏域)

2.圏域内の施設の再配置

圏域内の施設再配置については、施設の機能に着目し、必要と考えられる機能は何か、必要な活動が他施設では実施できないか等、施設を利用する市民の皆さんの考えを踏まえ、適正配置について検討します。

図2：地域の特性を考えた施設配置の15圏域の設定(案)



- No1～No6の圏域
市民センターが既に配置されている圏域（実線の円）
- No7～No11の圏域
地区公民館を拠点とする圏域（破線の円）
- No12～No15の圏域
地区公民館以外の他の公共施設（学校教育施設等）を拠点とする圏域

今回の取り組みでは、全体として施設の総量は減少しますが、総合計画で設定された6つの地域の考えを踏まえながら、よりきめ細かい範囲で整理することで、市民生活への影響を最小限にとどめ、地域に身近な施設として再配置することがねらいです。

このアンケートでは、15の圏域で再配置を検討するにあたり、広く地域ごとに配置されている地区公民館と学校教育施設に焦点を当て、皆様のご意見をいただきます。

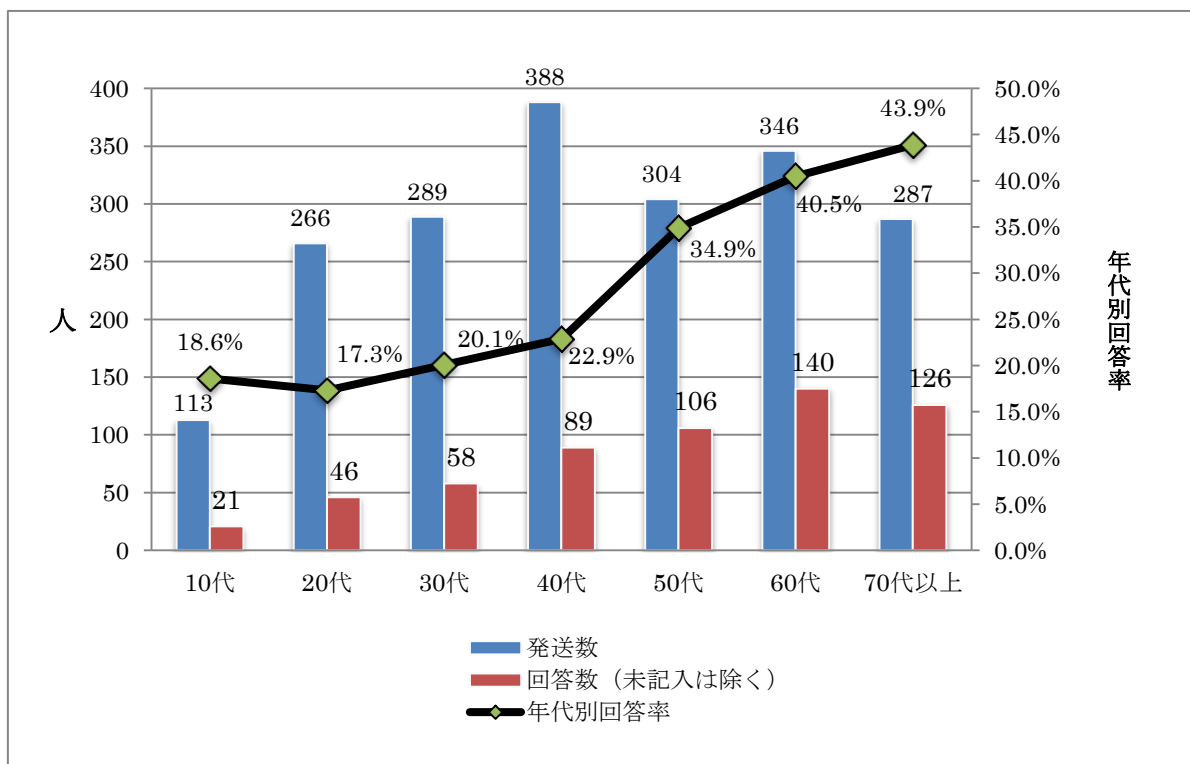
アンケートの概要

岸和田市では、公共施設マネジメント構想に基づき、平成 25 年度に「岸和田市公共施設のあり方に関する基本方針」を策定したのに続き、今年度末の「岸和田市公共施設最適化計画」策定に向け、現在作業を進めているところです。検討にあたり、市民の方の公共施設に対するご意見が貴重な資料となり得ることから、広くご意見をいただきたく本アンケートを実施しました。

■ 実施結果

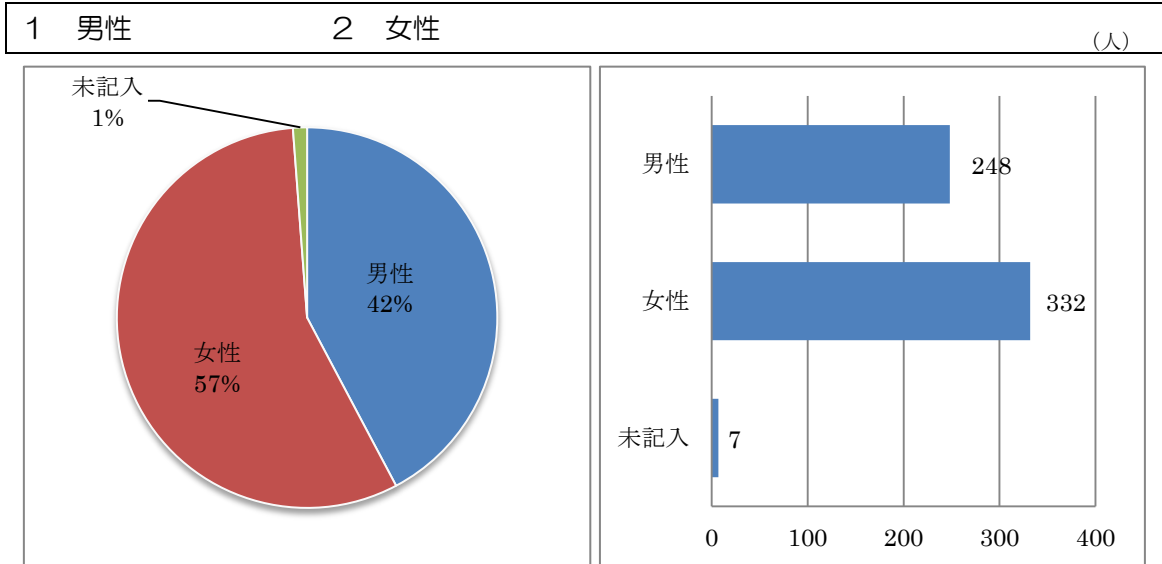
実施機関	平成 27 年 10 月 6 日（火）～平成 27 年 10 月 30 日（金）
対象者	市内在住の 16 歳以上 79 歳以下の男女 2,000 人（実数 1,993 人）
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送による配布、回収
回答方法	無記名
発送者実数	1,988 人
不達（返送）等	5 件
回答数	587 人
回答率	29.53%

■ 年代別回答状況



I あなた自身のことについて

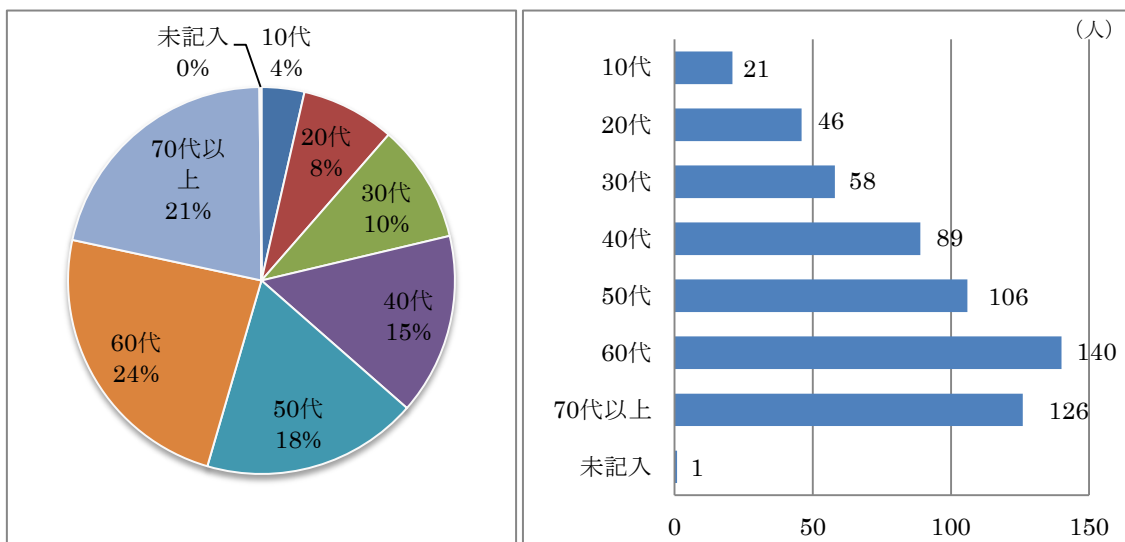
問1. あなたの性別をお答えください。



➤ 男女比で見ると、男性 42%、女性 57%で、女性の方が高い回答率です。

問2. あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。

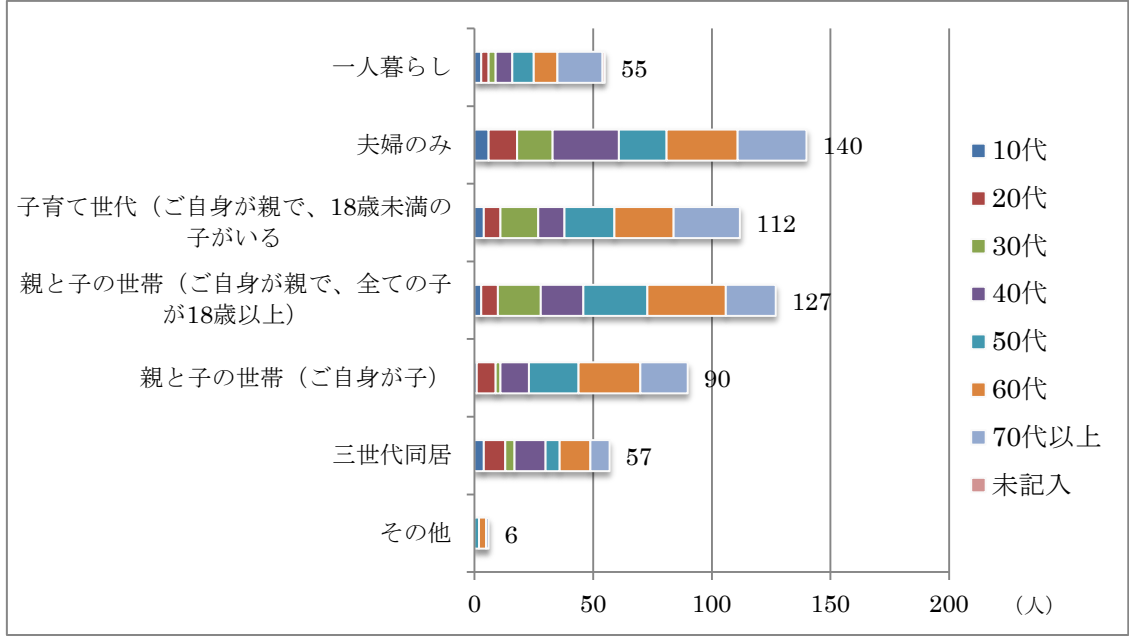
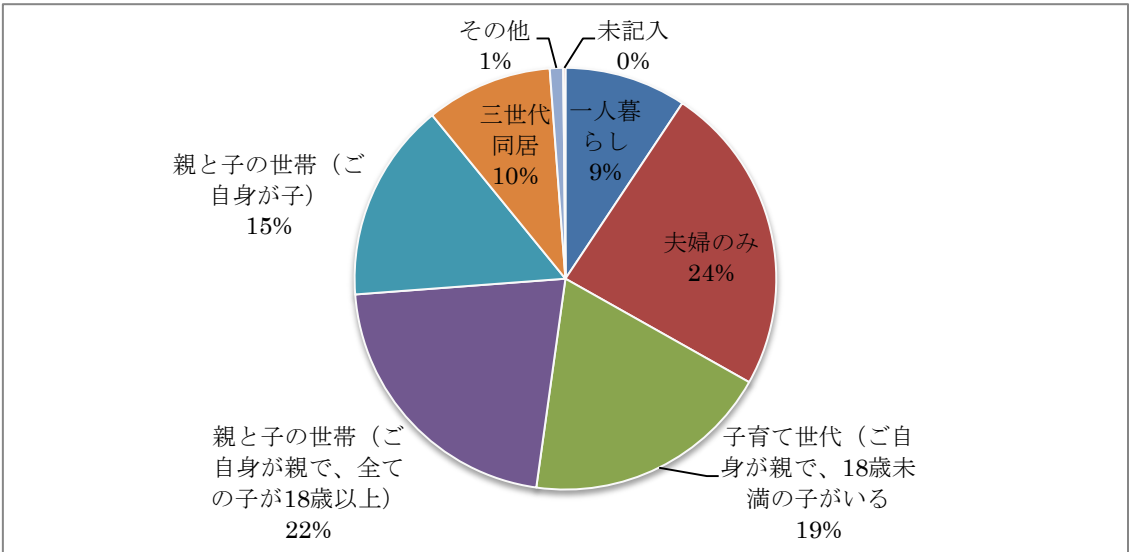
1 10代	2 20代	3 30代	4 40代
5 50代	6 60代	7 70代以上	



➤ 年代別の発送数に違いはあるものの (P6 年代別回答状況参照)、60代の回答者数が全年齢の中で 24%と最も高いが、10代と 20代については、それぞれ 10%に満たない回答者数です。

問3. 世帯構成は？（〇は1つ）

- 1 一人暮らし
- 2 夫婦のみ
- 3 子育て世帯（ご自身が親で、18歳未満の子がいる）
- 4 親と子の世帯（ご自身が親で、すべての子が18歳以上）
- 5 親と子の世帯（ご自身が子）
- 6 三世帯同居
- 7 その他（ ）

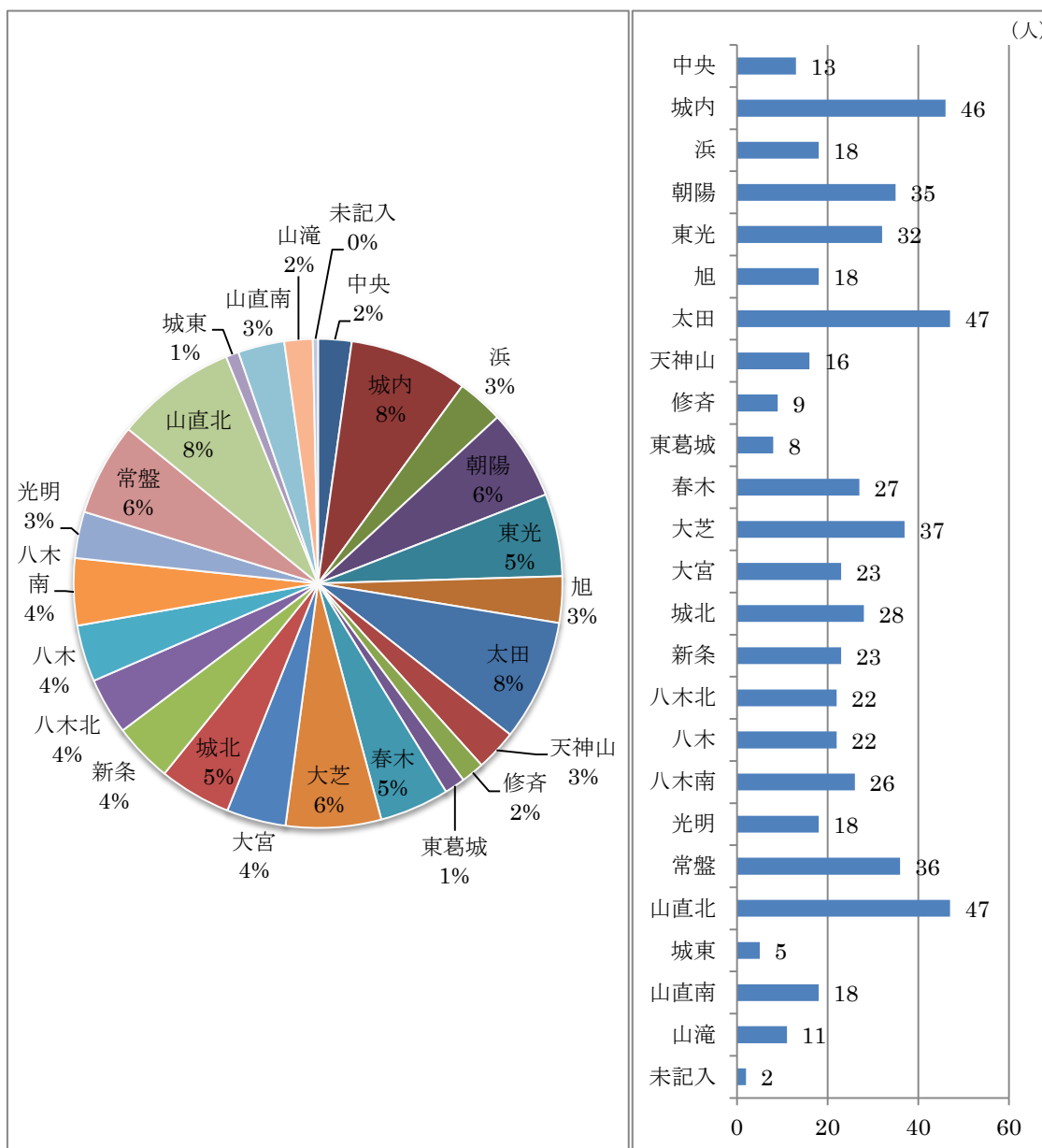


➤ 世帯別パターンで回答率を見ると、夫婦のみの世帯が24%で最も高く、その年齢別割合は、60代と70代以上で全年齢の42%を占めています。

問4. あなたのお住まいの小学校区は？

(小学校区が分からない場合は町名を記入してください。)

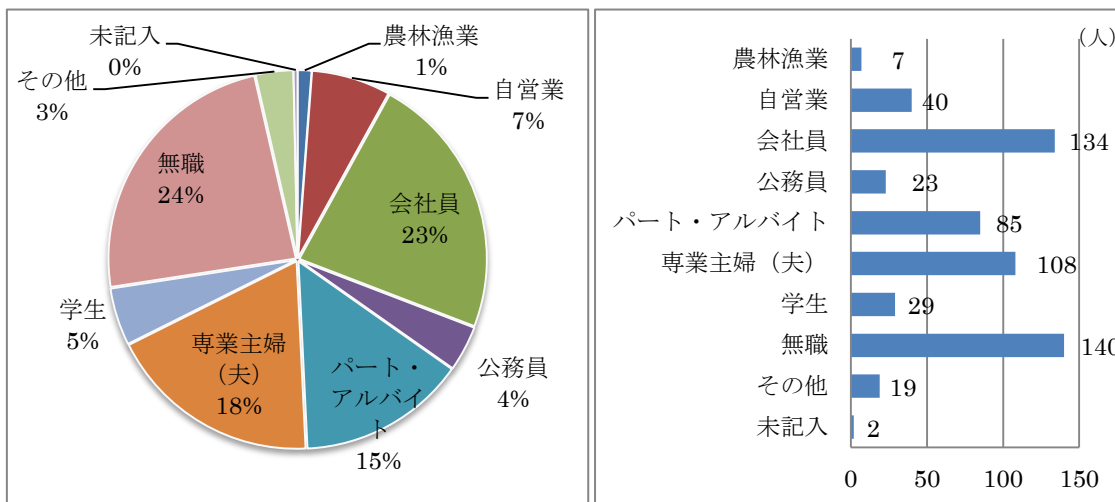
1	中央	2	城内	3	浜	4	朝陽	5	東光
6	旭	7	太田	8	天神山	9	修斉	10	東葛城
11	春木	12	大芝	13	大宮	14	城北	15	新条
16	八木北	17	八木	18	八木南	19	光明	20	常盤
21	山直北	22	城東	23	山直南	24	山滝		
25	わからない(町名: 町)								



➤ 校区別での回答率を見ると、概ね各校区の人口分布に比例しています。

問5. あなたの職業は？

- | | | |
|--------|-------------|-----------|
| 1 農林漁業 | 2 自営業 | 3 会社員 |
| 4 公務員 | 5 パート・アルバイト | 6 専業主婦（夫） |
| 7 学生 | 8 無職 | 9 その他（ ） |

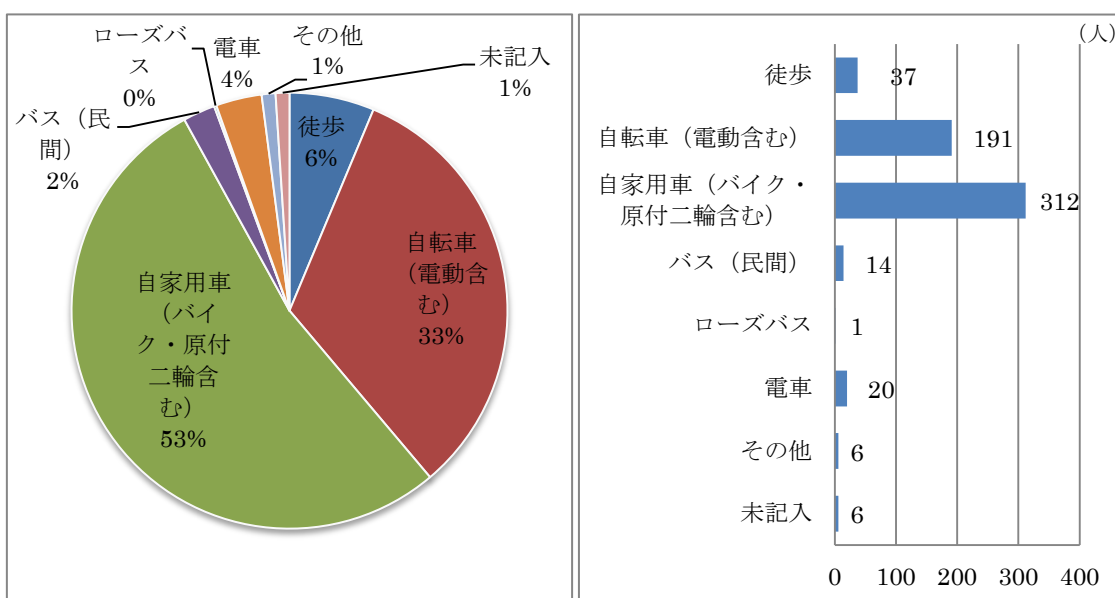


➤ 職業別パターンで回答率を見ると、無職が24%で最も高く、次いで会社員が23%となっています。

問6. あなたが市内で移動する場合、よく利用する交通手段は？

（最も利用するもの1つに○）

- | | | |
|----------|-------------|--------------------|
| 1 徒歩 | 2 自転車（電動含む） | 3 自家用車（バイク・原付二輪含む） |
| 4 バス（民間） | 5 ローズバス | 6 電車 |
| 7 その他（ ） | | |

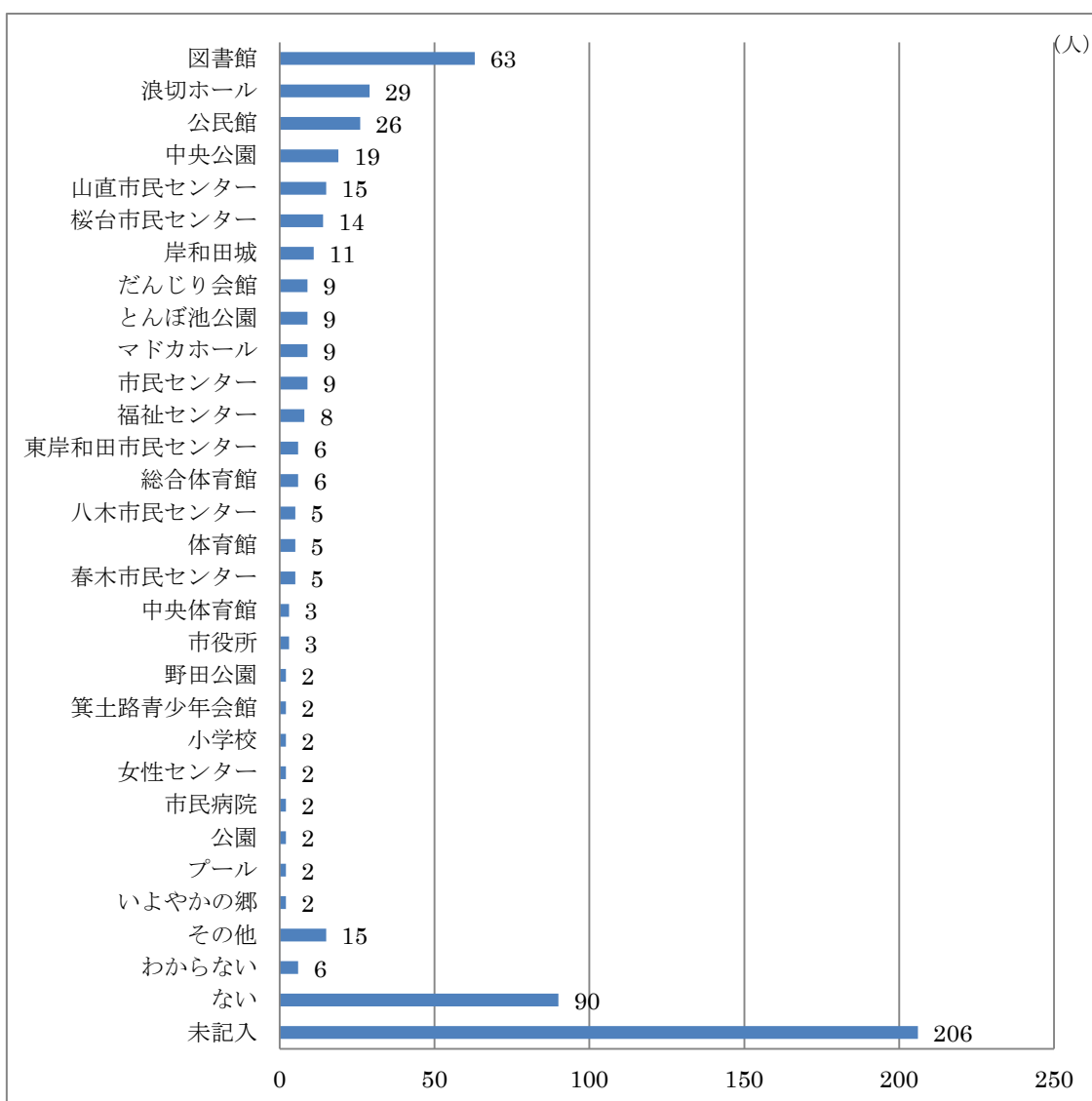


- 交通手段別で回答率を見ると、自家用車（バイク・原付二輪含む）が全交通手段の中で53%と半数を占め、次いで自転車（電動含む）が33%となっています。

Ⅱ 岸和田市の公共施設に思うこと

問7. 岸和田市の公共施設で、あなたが一番好きな（興味のある）施設はどれですか。

（自由回答） ※ 類似する回答は同一分類として集計



※ その他の主な回答：有真香会館、保健センター、町会館、心技館、自然資料館、
 自泉会館、子育て支援センターさくらだ、高齢者ふれあいセンター朝陽、
 牛ノロ公園、岸和田市貝塚市クリーンセンター、岸和田競輪場、愛彩ランド

【主な理由】(抜粋)

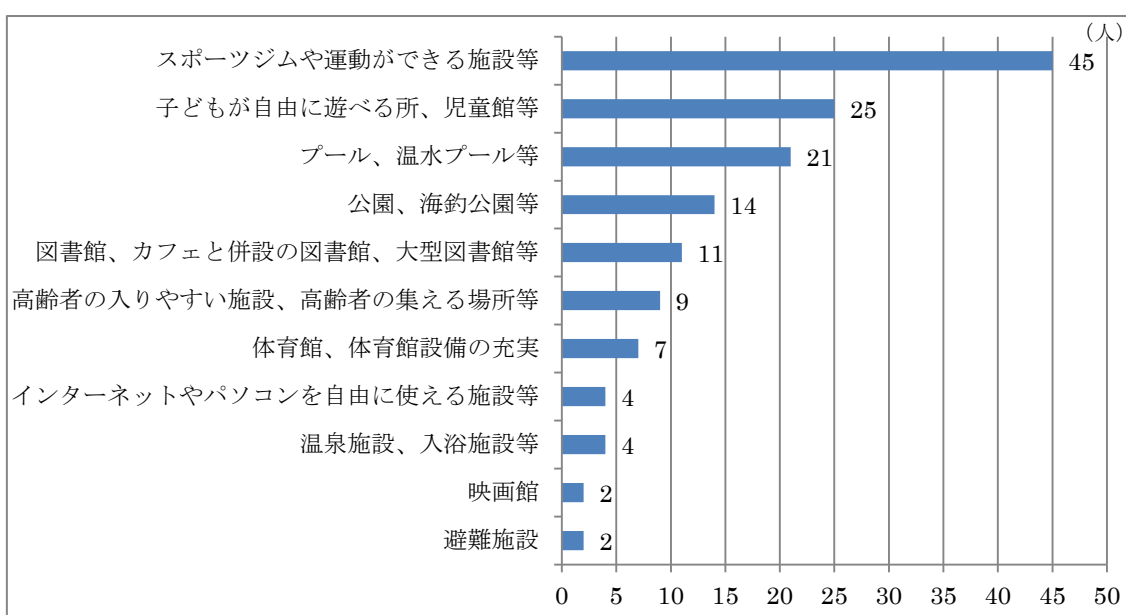
※ 原文を抜粋、一部文言等の修正あり。

図書館	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生の頃、受験勉強を自由にできる環境を見つけ、愛用していました。 ● 本が好きで、読みたい本もたくさんあるから。 ● 自習室が使いやすいから。 ● 無料で使用できるから。書物がたくさんあり、資料が探しやすい。 ● よく利用しているため。 ● 貸し出し以外に特設コーナーを設けていたり、イベントがたくさんあって楽しめる。 ● 学業で、資料を借りたり、自習室で勉強する必要があるから。
浪切ホール	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供達のイベントもあるし、有名人のイベントもあるから。 ● 立地は不便だが、様々な方面の芸能の方を呼んできており、興味がある。 ● 身近でコンサート等に行ける。浪切が出来てから、次はどんな人が来るのか、とても楽しみにしている。 ● 今までなかなか行けなかったクラシックなども行くようになり、自分自身の文化、芸術などの幅が広がったような気がする。 ● 岸和田の建築の中でデザインもすばらしい。 ● 冷暖房完備、施設が充実している。 ● 隣に商業施設があり、買い物も出来る。
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ● サークル等に興味がある。 ● 高齢者や地域の人々の交流の場となっている。 ● 家から近い。
市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館があるため。 ● 本を読めたり、岸和田市の情報等掲示板があること。便利だから。
岸和田城	<ul style="list-style-type: none"> ● 岸和田の象徴だから。 ● 桜が綺麗だから。 ● シンボルだと思う。 ● 城なんて、どこにでもあるものじゃないので、特別感があって好きです。 ● ライトアップや風景がとてもキレイで、歴史を感じられるから。
マドカホール	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの生活発表会の会場であり親しみがある。 ● 音楽会、ダンス、クラシックバレエ等、孫の世代の演技に心が温まる。 ● あまり大きくないので、学生から高齢者まで利用がしやすいし、行きやすい。
なし、未記入	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用した事がないのでわからない。 ● 興味がない。

- 公共施設で一番好きな施設を聞いたところ、最も多かったのは「図書館」(63人、11%)で、次いで「浪切ホール」(29人、5%)、「公民館」(26人、4%)となっています。
- 「市民センター」と回答した人は9人ですが、山直、桜台、東岸和田、八木、春木の各市民センターと回答した人と合わせた市民センターすべてでは、計54人となります。
- 一方で、「ない」(90人)、「わからない」(6人)、「未記入」(206人)3つに回答した人が計302人と、全体の51%を占めています。

問8. 今ある施設以外で、あなたが欲しいと思う施設はどのようなものですか。(自由回答)

※ 類似する回答は同一分類として集計



※その他の主な回答：公設葬儀場、遊園地、大学、馬券売場、カジノ、プラネタリウム、ホテル、科学館、動物保護施設、電車がきてほしい、夜遅くまで開いている役所関係、のんびりと過ごせる場所

→ 問7、問8の回答から・・・

■ 好きな公共施設がない (わからない、未記入含む) が約半数

これらの回答から見えるのは、日頃、生涯学習やイベント等で利用されている施設は、市民に身近な存在となっており、好意的に受け取られていると考えられます。それに対して、「未記入」と回答された人が多かったのは、理由欄にも記載があるとおり、日頃、公共施設を利用されていないことや、興味がないことに起因している可能性があります。市民に対して、公共施設の情報（イベントの周知等）を広く提供し、より施設に興味を向けてもらえるように努めなければなりません。

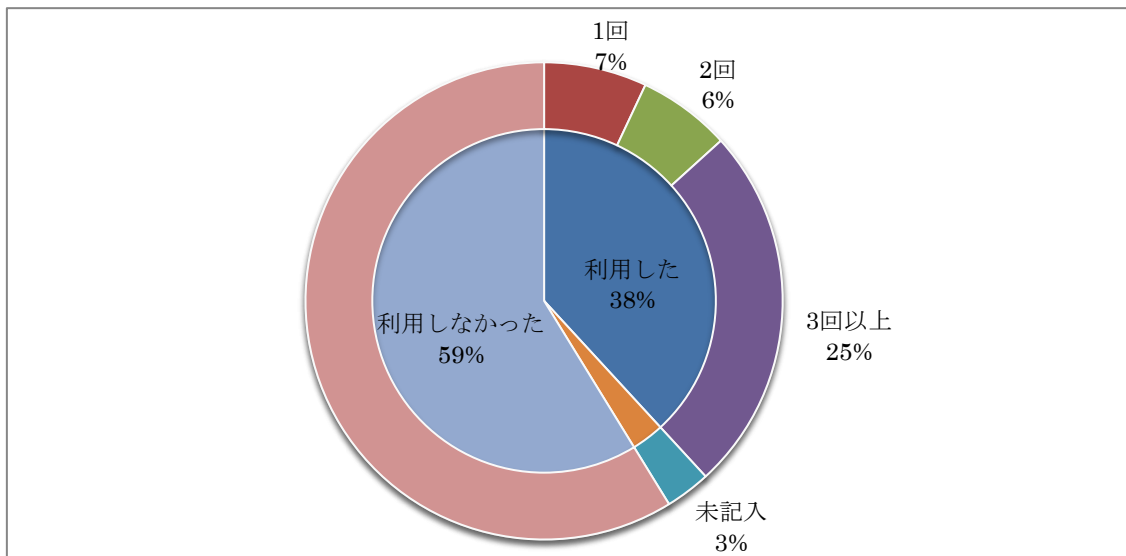
Ⅲ 公民館について

《 対象 》 岸和田市が管理する公民館（青少年会館含む）

市立公民館・中央地区公民館	公民館分館（春木市民センター内）	
春木地区公民館・春木青少年会館	葛城地区公民館	光陽地区公民館
山滝地区公民館	城北地区公民館	大芝地区公民館
旭地区公民館（東岸和田市民センター内）	葛城上地区公民館	
山直地区公民館（山直市民センター内）	光明地区公民館	新条地区公民館
天神山地区公民館	八木地区公民館（八木市民センター内）	
常盤地区公民館（桜台市民センター内）	久米田青少年会館	箕土路青少年会館
大宮青少年会館		

問9. あなたは、過去1年間で上記対象の公民館を利用されましたか。

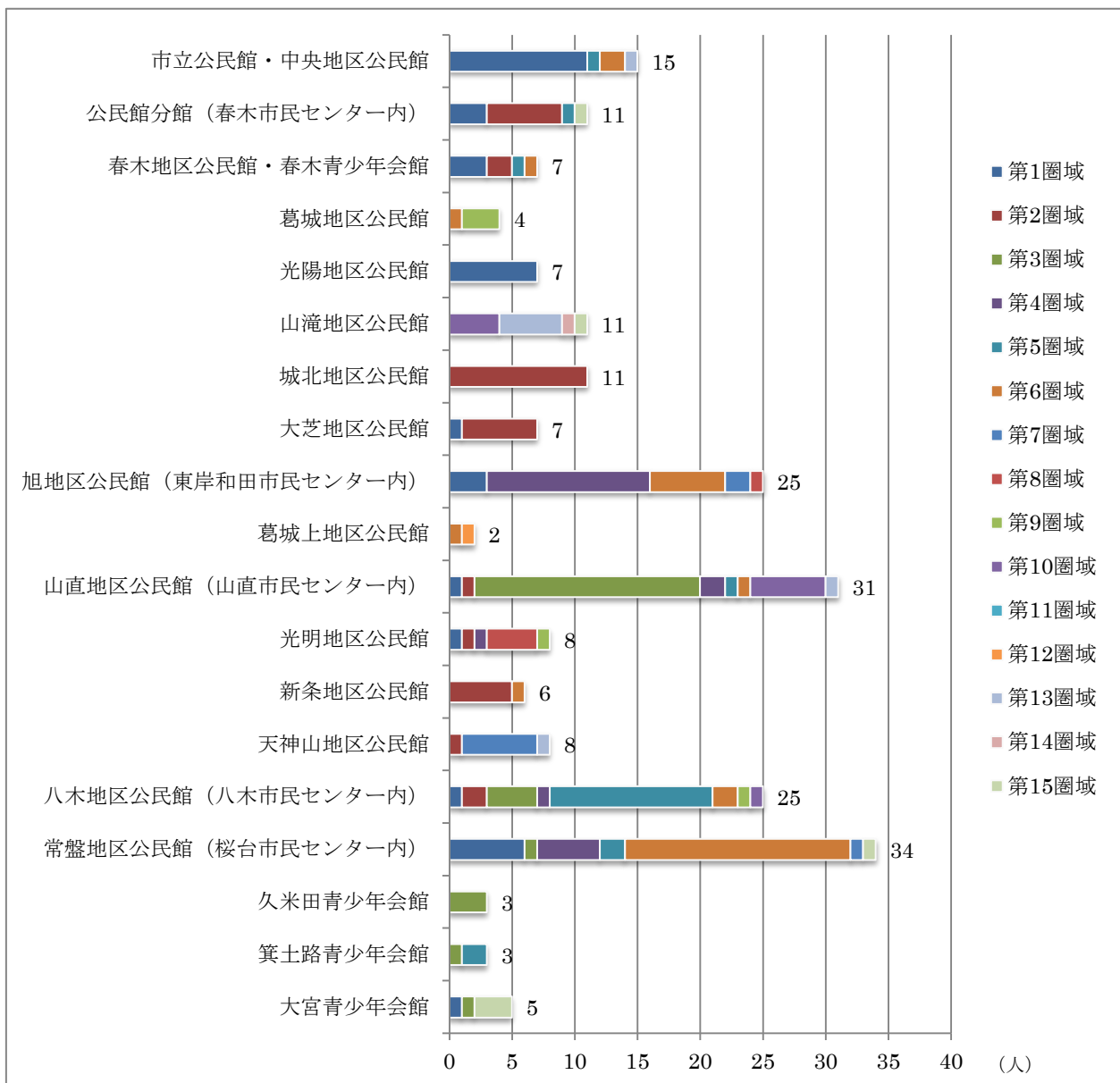
1 利用した（ 回／年利用） 2 利用しなかった



■ 公民館を利用しなかった人が約6割

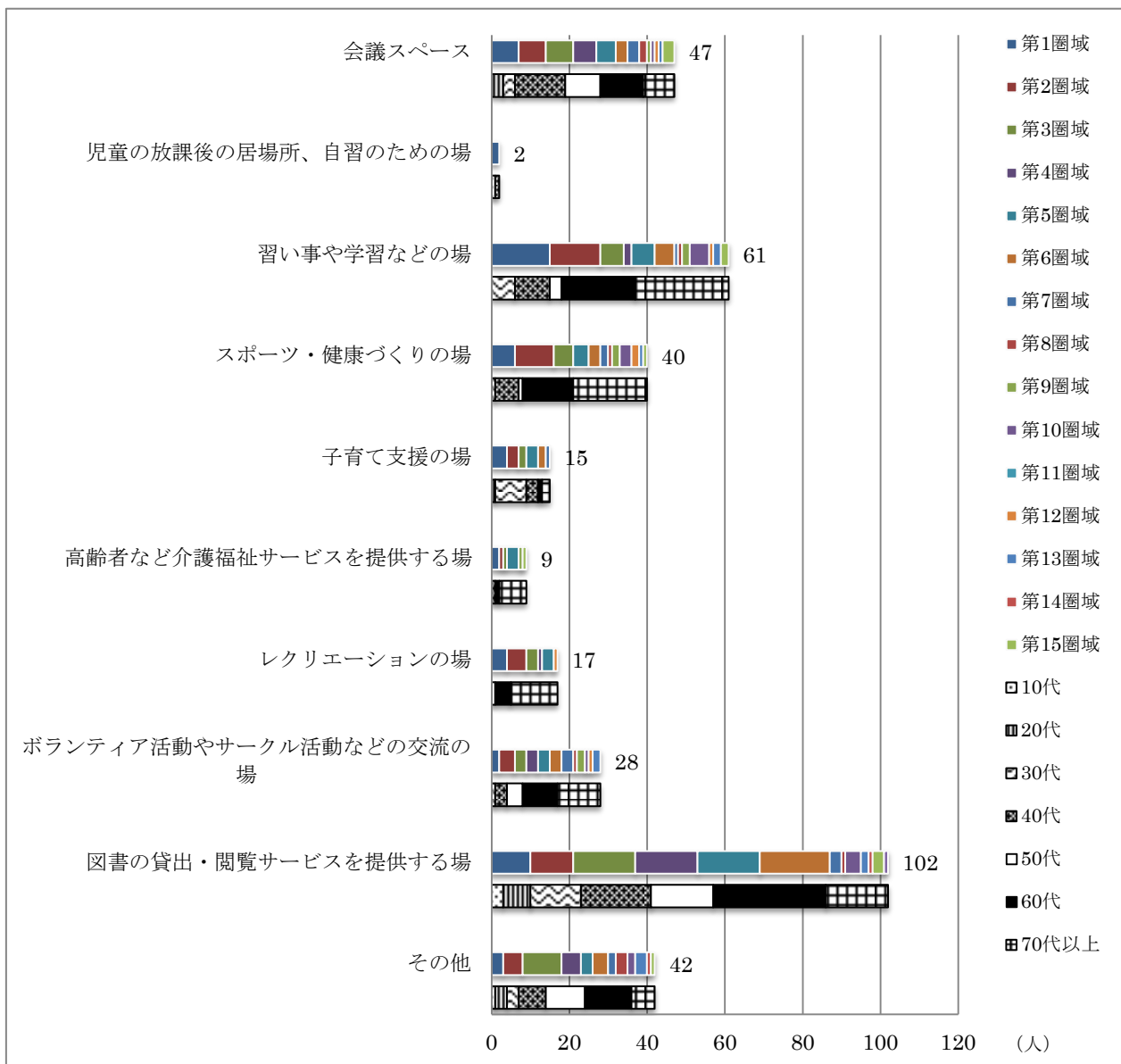
公民館を過去1年間に利用した人の割合は38%、利用しなかった人は59%となっており、ほぼ4：6となっています。また、利用した人の割合のうち、回数別の割合を見ると、年3回以上利用している人の割合が25%と最も高くなっています。

(1) 前記問 9. で 1 利用した と回答された方におたずねします。どの公民館を利用されましたか。また、その利用された目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



- 最も利用された公民館は「常盤地区公民館（桜台市民センター内）」の 34 人で、利用者の圏域別割合を見ても、公民館の所在する第 6 圏域の居住者が最も高い結果となっています。また、上位を占める地区公民館（山直、八木、旭）も常盤地区公民館と同様に市民センター内にあり、利用者の圏域別割合も同様の結果です。
- これらの回答からは、地域コミュニティの拠点である市民センター内の公民館の利用者が多く、圏域別割合から見ても、その地域に密着し、かつ地域活動の拠点として利用されていることが見受けられます。

【利用された目的】

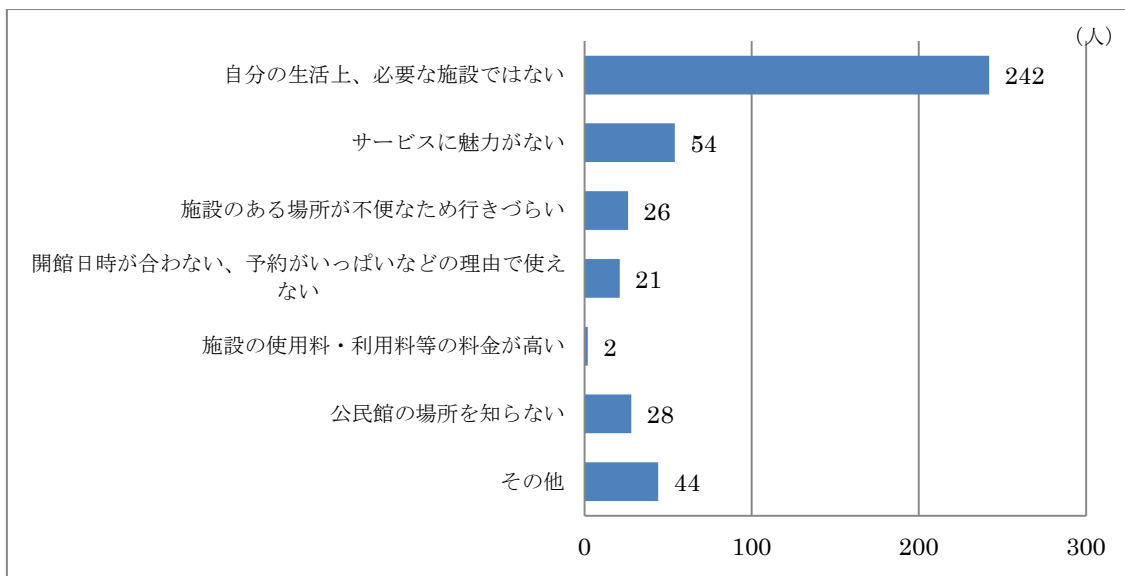
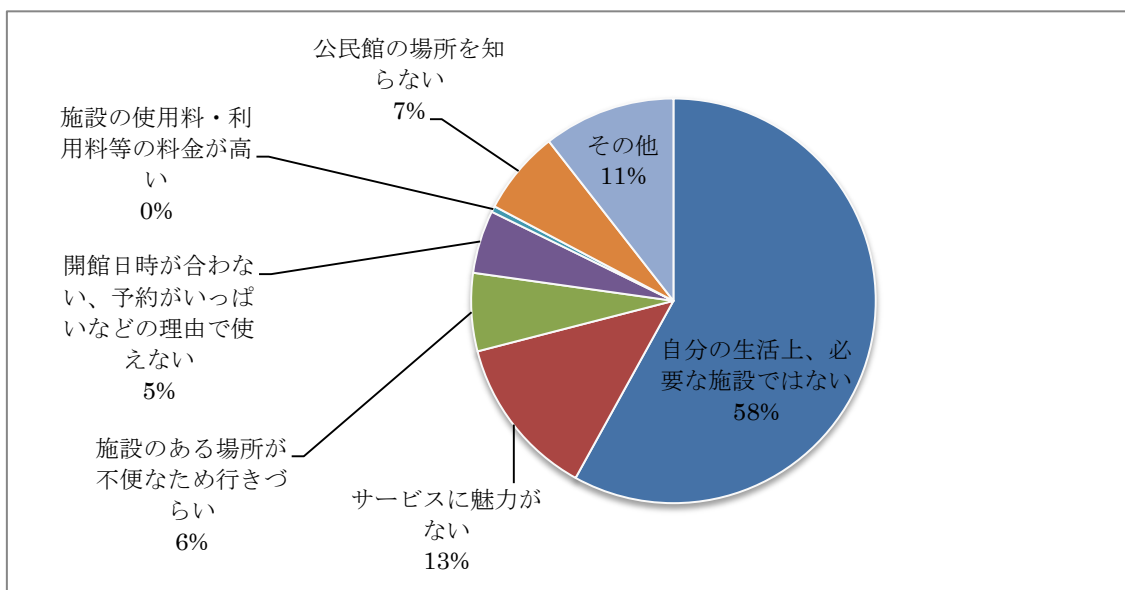


※その他の主な回答：選挙、行政サービス、公民館祭り、子供会行事

■ 最も多い利用目的は、図書の貸出・閲覧サービスを提供する場

公民館の利用目的を聞いたところ、「図書の貸出・閲覧サービスを提供する場」目的での利用者が 102 人で最も多く、回答全体の 28%を占めています。

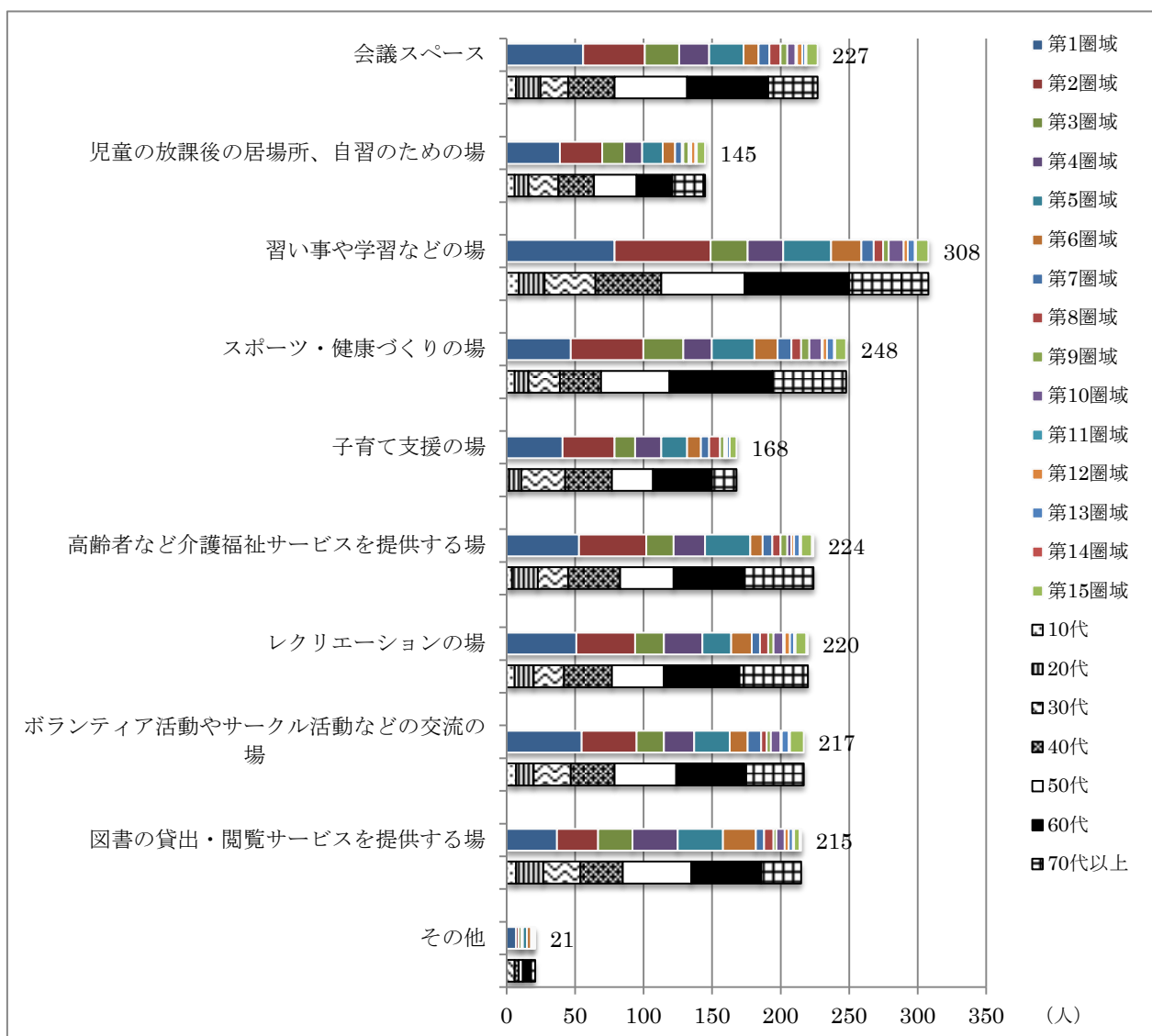
(2) 前記問 9. で 2 利用しなかった と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



■ **利用しなかったのは、自分の生活上、必要な施設ではないから**

利用しなかった理由を聞いたところ、「自分の生活上、必要な施設ではない」からという人が 242 人と、回答全体の 58%を占めています。生活上、必要がないため、利用機会がないということが見受けられますが、一方で、「サービスに魅力がない」からと回答した人が 54 人いることから、公民館の提供している事業について、再検証の必要性が問われていると言えます。

問10. あなたにとって、今ある公民館とはどのようなことに利用される施設だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



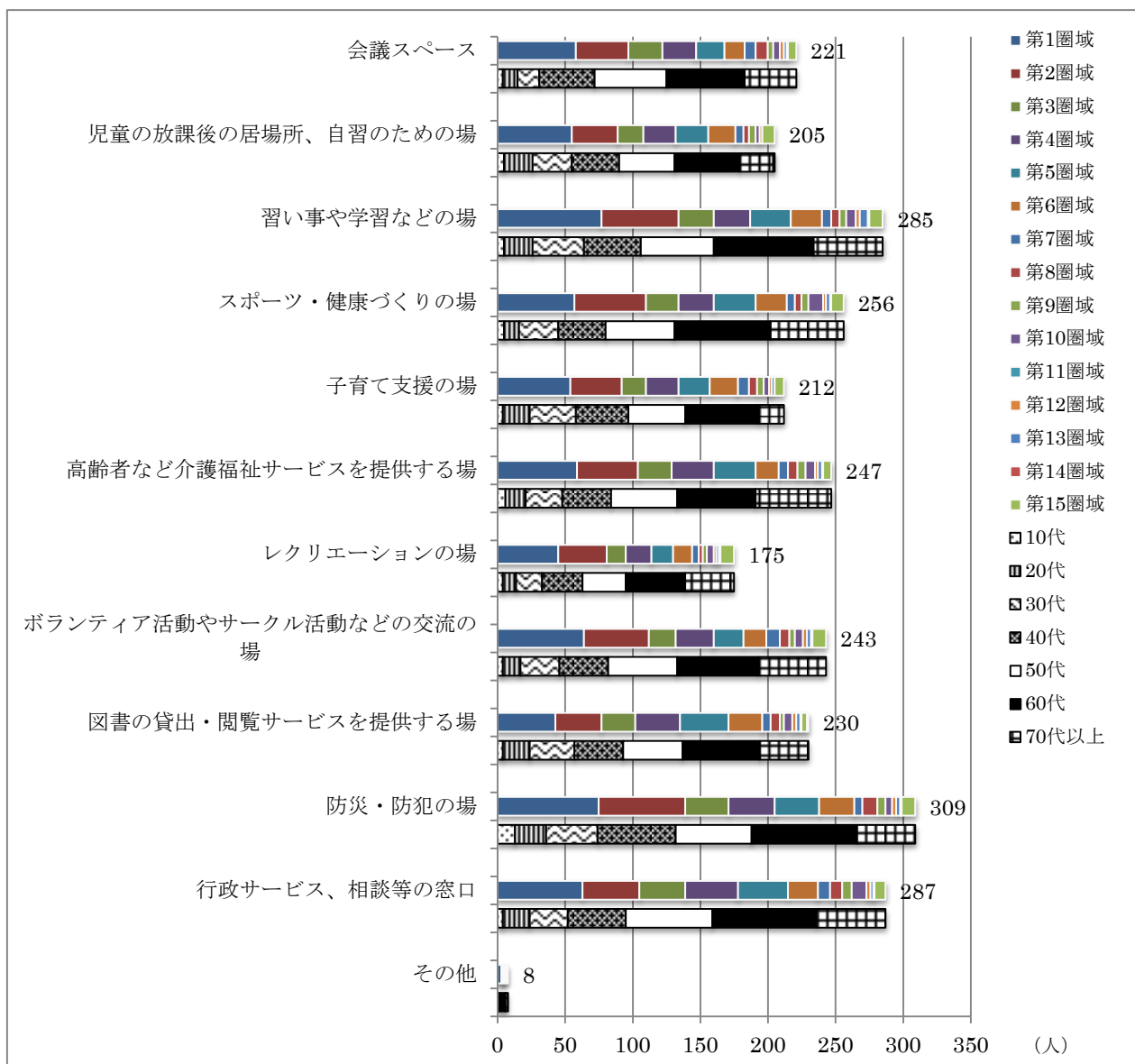
※その他の主な回答：災害時の避難場所、市民の憩いの場、市役所出張所

■ **公民館とは、習い事や学習などの場として利用されるもの**

問9では実際利用した目的を聞いていますが、自らの利用目的に限らず、公民館とはどのようなことに利用される施設かを聞いたところ、「習い事や学習などの場」と考えている人が308人で最も多く、次いで「スポーツ・健康づくりの場」が248人となっています。

公民館の利用イメージは、生涯学習や会議スペースとしての利用や、放課後児童や高齢者の居場所づくりに大きく貢献すべき施設と、市民には捉えられているように見受けられます。施設の運営について公民館の機能を整理し、より柔軟に対応していけるような施設のあり方を考える必要があります。

問 11. 公民館の機能として必要だと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

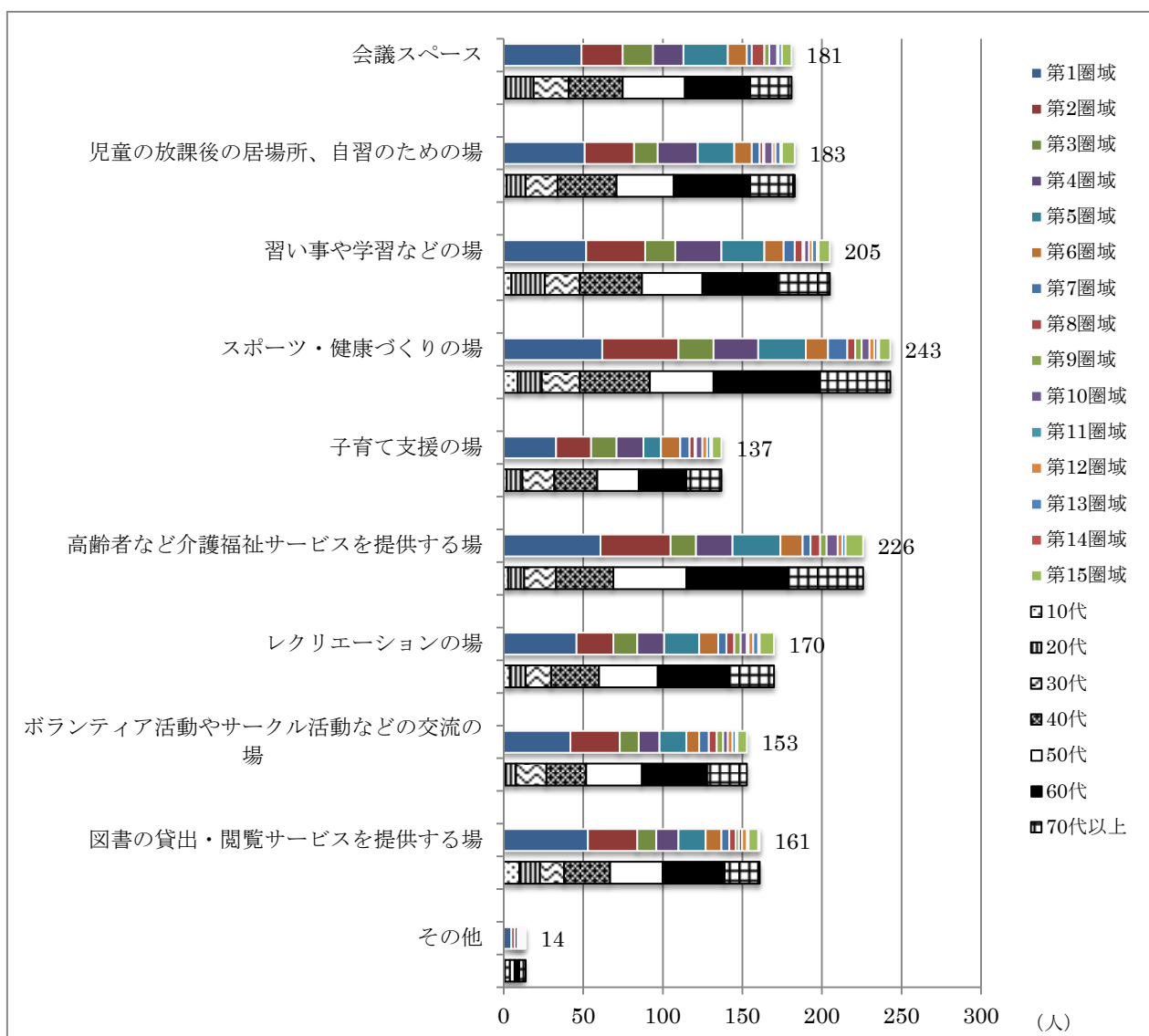


※その他の主な回答：展示物販、Wi-Fi が使えること、期日前投票

■ **公民館は、防災・防犯の場としての機能が必要**

現公民館が有する機能に限定せずに、公民館の機能として必要だと思うものを聞いたところ、「防災・防犯の場」と考えている人が 309 人で最も多く、次いで「行政サービス、相談等の窓口」が 287 人となっています。これらの回答からは、公民館には市役所の支所機能を備えるべきと考えられているところがあり、公民館を各地域のあらゆる行政サービス提供の中心に据え、利便性を高めたいという考えが見受けられます。

問 12. 公民館ではなく、その他の施設でも利用可能だと思う機能は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)



※その他の主な回答：趣味の作品展示、防災、コンテナの利用

■ **スポーツ・健康づくりは、公民館でなくでも利用可能**

公民館ではなく、その他の施設でも利用可能なものを聞いたところ、「スポーツ・健康づくりの場」と考えている人が 243 人で最も多く、次いで「高齢者など介護福祉サービスを提供する場」が 226 人となっています。

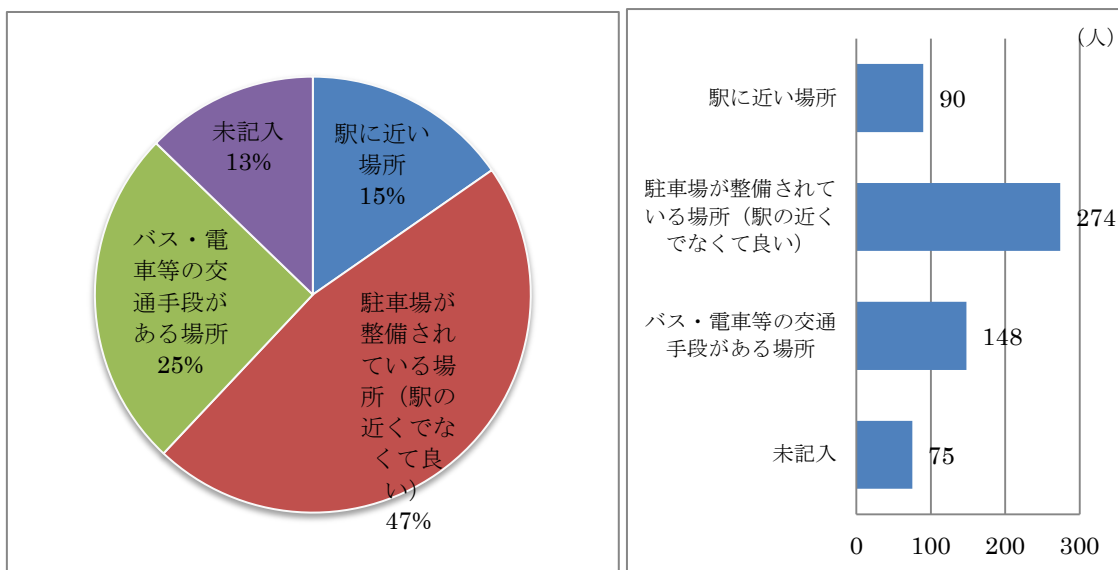
→ 問10～問12の回答から…

■ 公民館は、地域コミュニティ活動の拠点となる施設に

問 10 から問 12 までの回答から見えるのは、公民館の機能として市民に求められているのは、通常時は習い事や学習などの場として利用され、非常時には防災・防犯の場として利用できるということです。公民館を地域コミュニティ活動の拠点となる施設として機能整理し、各地域で利便性のある施設として、あらゆる行政サービスを提供できるよう、施設再配置について検討する必要があります。

また、公民館に対しての年代別回答の割合を見ると、どの設問も 60 代が最も高くなっています。高齢化社会は今後も進む傾向であり、公民館においては高齢者の居場所づくりとして重視される場所です。今後を見据え、特にその回答に注視しなければならない年代と言えます。

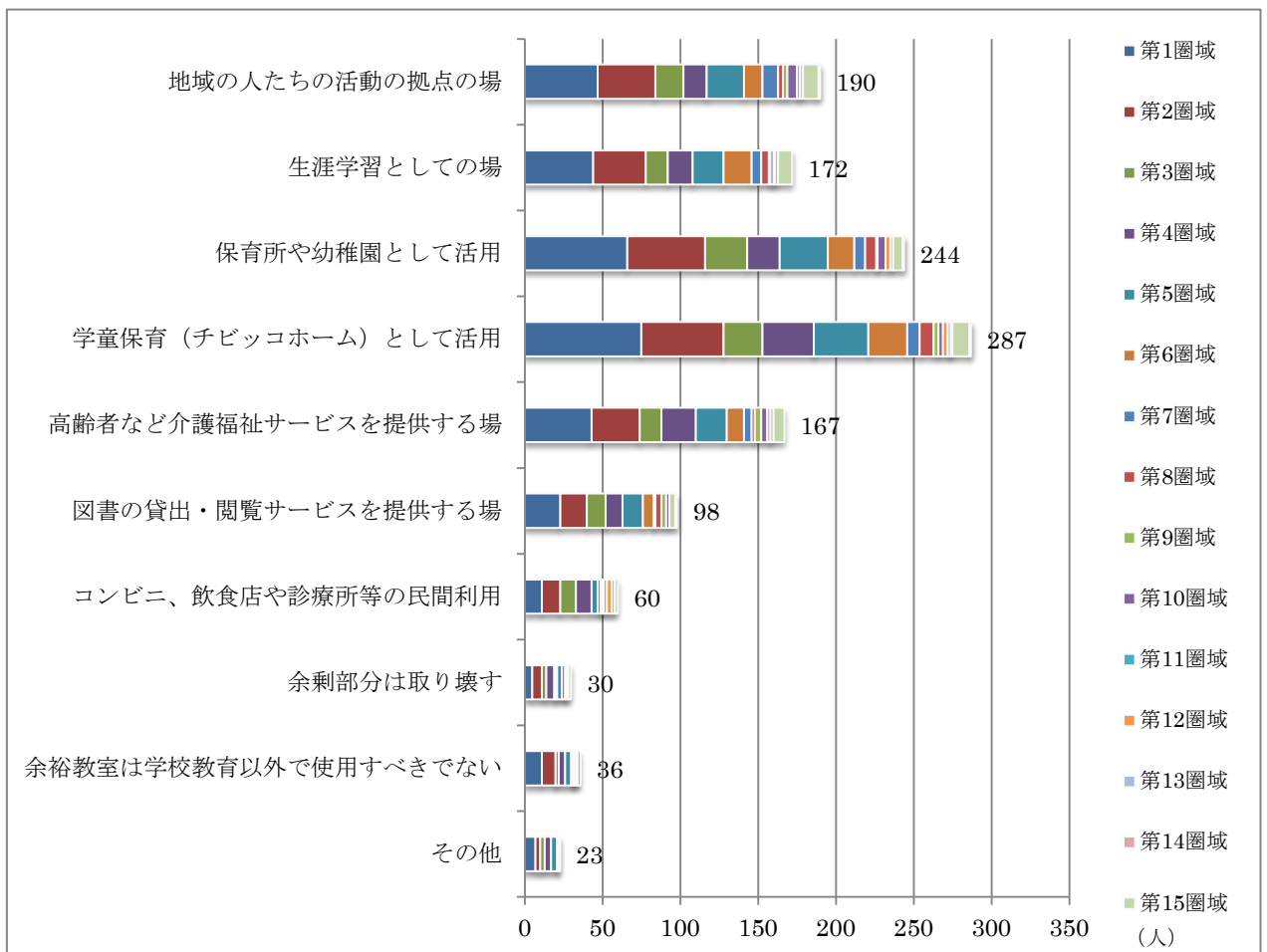
問 13. 前記問 12. で回答いただいた機能を利用する場合、その場所はどこにあれば便利ですか。(あなたの考えに最も近いもの1つに○)

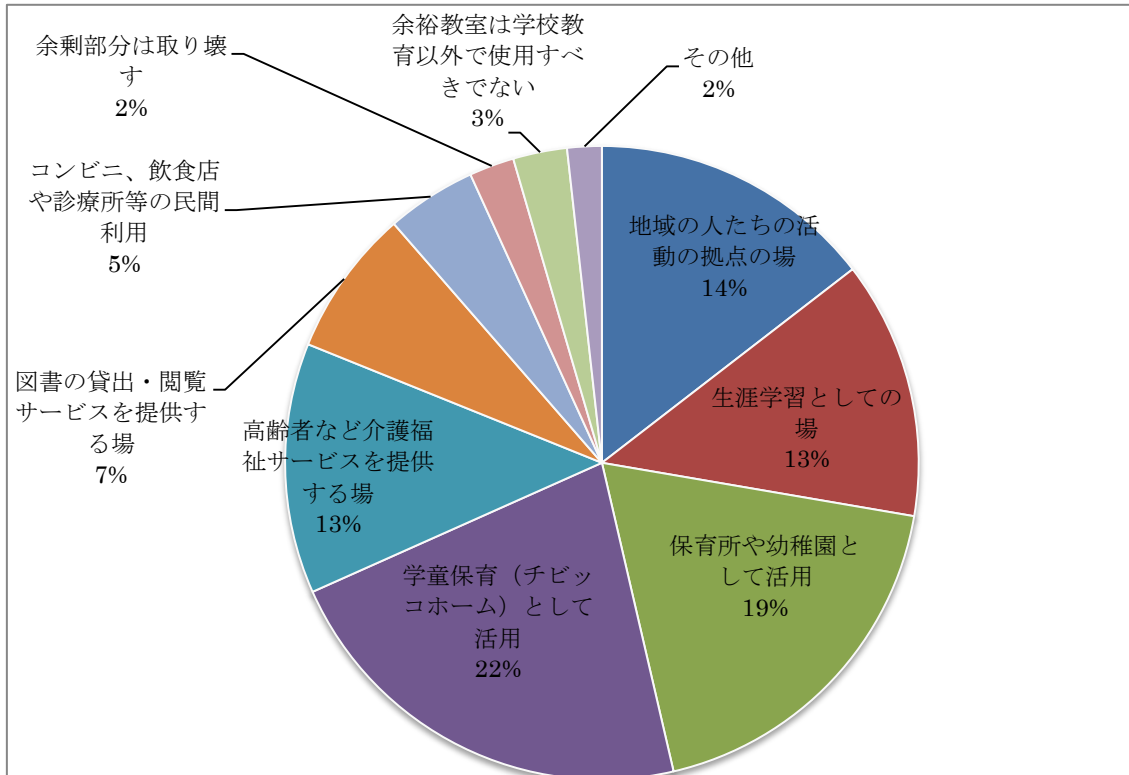


➤ 問 12 で回答いただいた機能を利用する場合について、どこにあれば便利なのか聞いたところ、「駐車場が整備されている場所 (駅の近くでなくて良い)」の回答率が全体の 47% と最も高くなっています。問 6 で移動手段に自家用車を使用している人が半数という回答結果と合わせて考えると、駐車場が確保されているかどうか重視されていると考えられます。

IV 学校について

問 14. 学校教育施設は、将来的に児童数の減少が見込まれ、今後、余裕教室が出てくると考えられます。活用方法として、あなたが考えるものはどれですか。以下の1～10よりお選び下さい。(あてはまるものすべてに○)
 また、○を付けた活用方法について、(A) メリット、(B) デメリット、および (C) 想定される課題への解決策、について、語群より数字をお選び下さい。



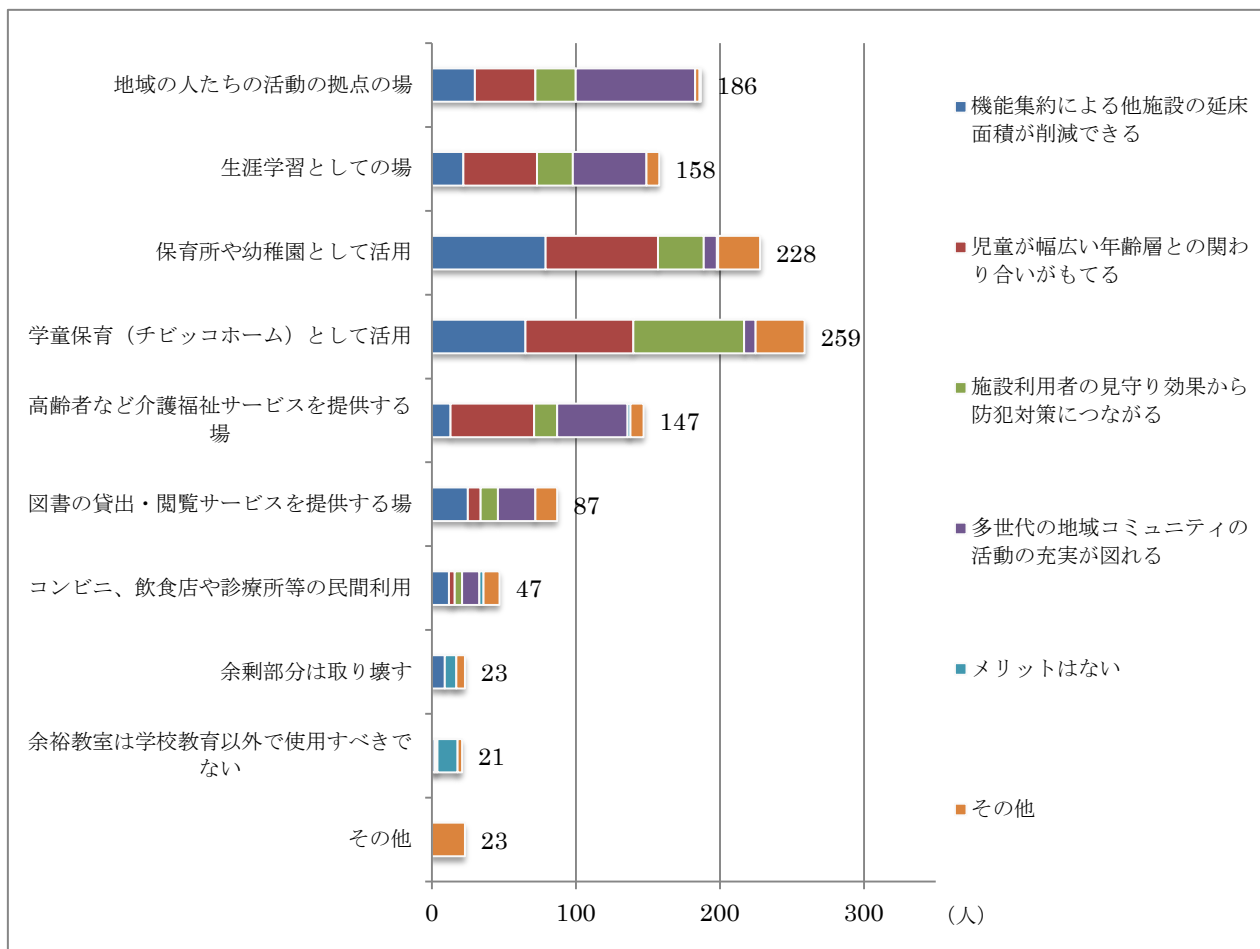


■ 学校の余裕教室は、学童保育（チビッコホーム）に活用

余裕教室の活用方法について聞いたところ、「学童保育（チビッコホーム）として活用」と考えている人が 287 人で最も多く、次いで「保育所や幼稚園として活用」が 244 人、「地域の人たちの活動の拠点の場」が 190 人となっています。

これらの回答からは、上位 2 つはいずれも子ども支援に関するもので、現にそこに通学している児童もいることから、活用方法としては比較的なじみのあるものと考えられると言えます。また、地域の人たちの活動の拠点との考えは、学校はどの地域にもまんべんなく配置され、市民にも愛着ある施設として捉えられていることから、地域コミュニティ活動の拠点として機能を充実させることで、学校本来の教育機能のほか、子ども支援、地域内交流といった機能の複合化検討につながるものと考えられます。

(A) 活用によるメリットについて



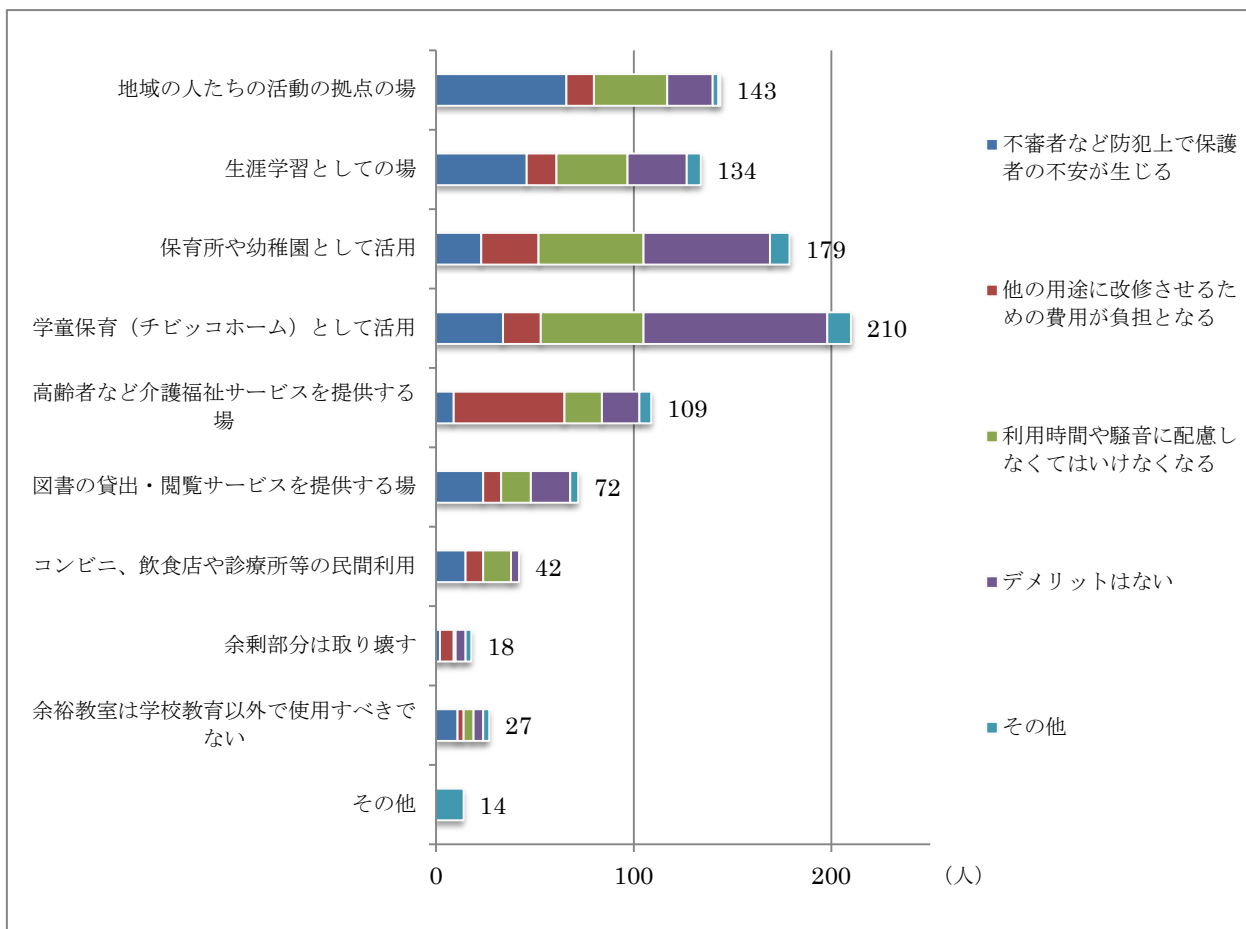
■ 学童保育（チビッコホーム）に活用する場合のメリットは、異年齢との関わりと見守り効果からの防犯対策

活用方法のメリットについて聞いたところ、「学童保育（チビッコホーム）として活用」する場合のメリットは、「施設利用者の見守り効果から防犯対策につながる」ことが最も多く、次いで「児童が幅広い年齢層との関わり合いがもてる」ことです。なお、異年齢との関わりについてメリットと考えるのは、「保育所や幼稚園として活用」する場合にも多くなっています。

また、「地域の人たちの活動の拠点の場」に活用する場合のメリットは、「多世代の地域コミュニティの活動の充実が図れる」ことが最も多く、次いで「児童が幅広い年齢層との関わり合いがもてる」ことです。

これらの活用を図るメリットとして、機能集約による延床面積が削減できると考えられるのはもちろんのこと、学校を地域コミュニティ活動の拠点とすることで、地域の人たちが学校に寄り合い、異年齢同士の交流が行われ、かつ見守り効果から防犯対策につながると考えられます。

(B) 活用によるデメリットについて



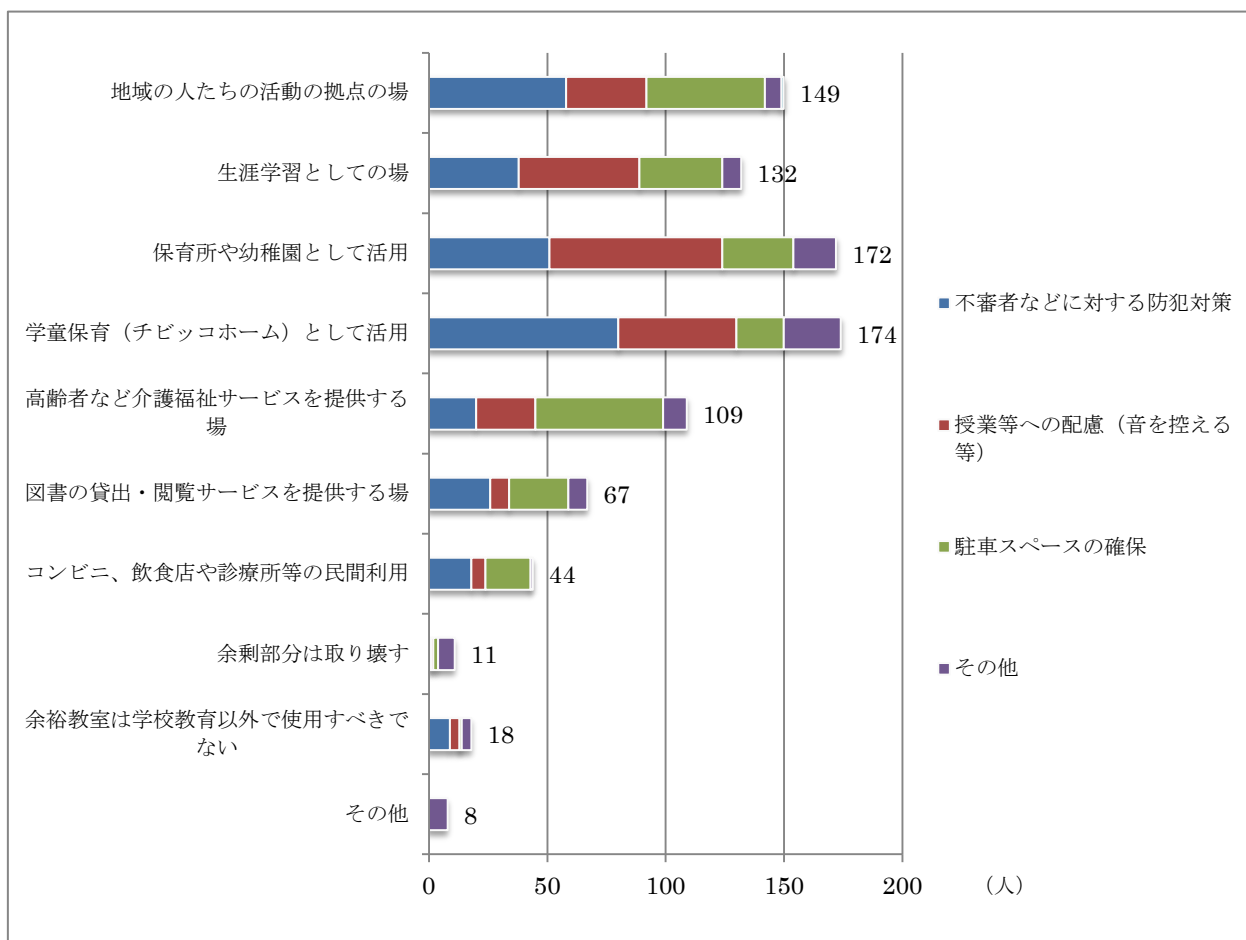
■ デメリットとしては、地域活動の拠点化により、不審者などの不安が生じること

活用方法のデメリットについて聞いたところ、「学童保育(チビッコホーム)として活用」する場合や「保育所や幼稚園として活用」する場合には、特に「デメリットはない」というのが最も多く、次いで「利用時間や騒音に配慮しなくてはいけなくなる」ことです。

また、「地域の人たちの活動の拠点の場」に活用する場合のデメリットは、「不審者など防犯上で保護者の不安が生じる」ことが最も多くなり、メリットとしての防犯対策と相反します。

これらの回答から見えるのは、余裕教室を活用する場合は、通学する児童・生徒と同世代の利用は非常に肯定的であるものの、地域の人とはいえ不特定多数の人が学校内に入ることに對して、市民には多少の不安があると見受けられます。

(C) 想定される課題への解決策



- 想定される課題への解決策について聞いたところ、概ねデメリットの理由に対してのものが上位を占めました。それ以外では、「保育所や幼稚園として活用」する場合は「授業等への配慮 (音を控える等)」が最も多く、「高齢者など介護福祉サービスを提供する場」として活用する場合は「駐車スペースの確保」が最も多くなっています。
- これらの回答から見えるのは、保育所や幼稚園では、歌やリズム体操、園庭での運動などが展開されていること、介護福祉サービスでは自動車での送迎が必要なことが、学校の本来の目的である授業に支障をきたすのではとの懸念があるように見受けられます。

【その他の主な回答】(抜粋)

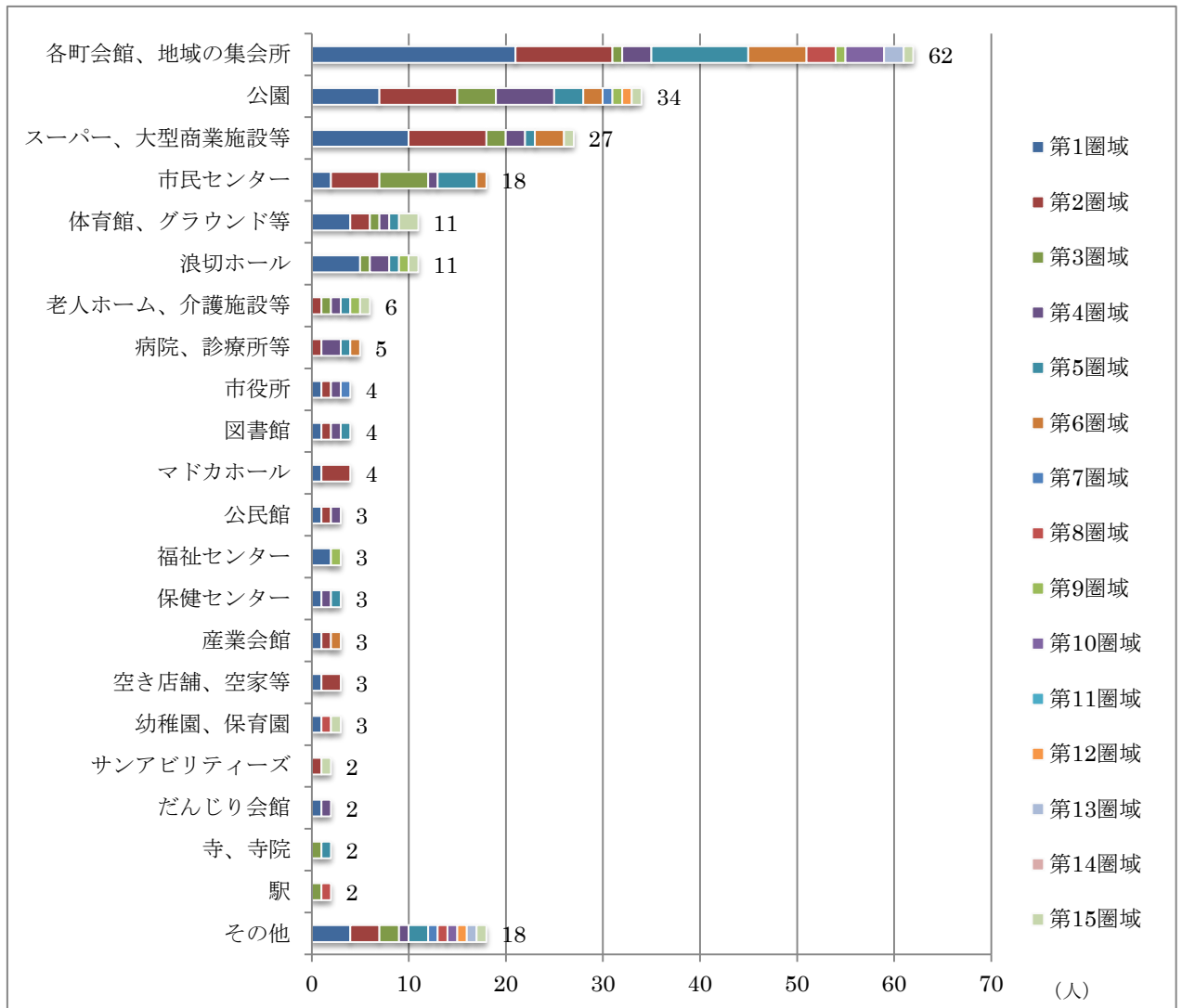
※ 原文を抜粋、一部文言等の修正あり。

市役所の分室として活用	メリット	地域に行政の基礎的サービスを提供できる
	デメリット	人材配置の費用
	解決策	教育上必要な人件費からの移行

幼児と高齢者のふれあいの場	メリット	共に楽しい (児童が幅広い年齢層との関わり合いがもてる)
	デメリット	デメリットはない
	解決策	—
高齢者の身体活動の場として	メリット	健康保険の低減化
	デメリット	ソフトマット等の購入等 (自己負担、貸出)
	解決策	指導者の確保 (スポーツ指導者、栄養士等)
震災時に利用	メリット	日頃から準備しておける
	デメリット	無駄になる可能性有 (他の用途に改修させるための費用が負担となる)
	解決策	—
大学の学生寄宿	メリット	児童が幅広い年齢層との関わり合いがもてる
	デメリット	他の用途に改修させるための費用が負担となる
	解決策	授業等への配慮 (音を控える等)
市民個人への貸出し	メリット	会合で必要な時使用できる。
	デメリット	予約等の管理窓口が必要 (利用時間や騒音に配慮しなくてはいけなくなる)
	解決策	—
道の駅のようなもの	メリット	校庭が駐車場にできる。
	デメリット	他の用途に改修させるための費用が負担となる
	解決策	—
警察の駐在所	メリット	保護者も安心 (利用者の見守り効果から防犯対策につながる)
	デメリット	他の用途に改修させるための費用が負担となる
	解決策	—
非常時の拠点	メリット	機能集約による他施設の延床面積が削減できる
	デメリット	デメリットはない
	解決策	非常用品の保管が必要となる
高齢者の会合場	メリット	多世代の地域コミュニティ活動の充実 児童が幅広い年齢層との関わり合いがもてる
	デメリット	利用時間や騒音に配慮しなくてはいけなくなる
	解決策	駐車スペースの確保
芸術活動の発表の場、ギャラリー	メリット	地域外の情報を得られる。
	デメリット	利用時間や騒音に配慮しなくてはいけなくなる
	解決策	全部

V その他の施設について

問 15. 公民館や学校以外で、地域のコミュニティ活動の拠点となり得る施設はどこだと思いますか。(自由回答) ※ 類似する回答は同一分類として集計



※その他の主な回答：郵便局、農協、水なすの館、博物館

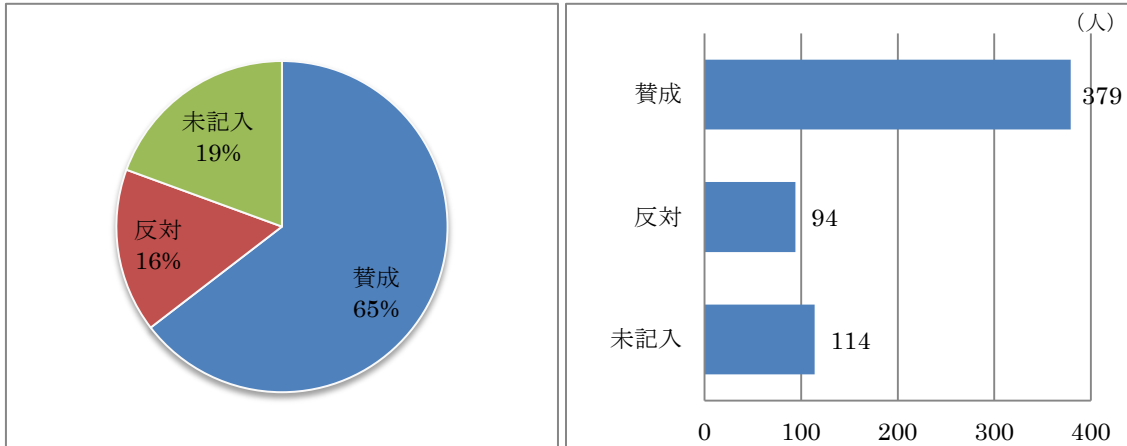
■ **公民館や学校以外で、拠点となり得る施設は各町会館、地域の集会所**

公民館や学校以外で地域のコミュニティ活動の拠点となり得る施設を聞いたところ、「各町会館、地域の集会所」が 62 人で最も多く、圏域別で見ても地域の偏在性がなく、概ね市域全体としての回答と言えます。各町会館、地域の集会所は各圏域内に多数所在しており、地域が主体となる拠点施設化に向け、これらの回答は検討する上で、大変参考になります。

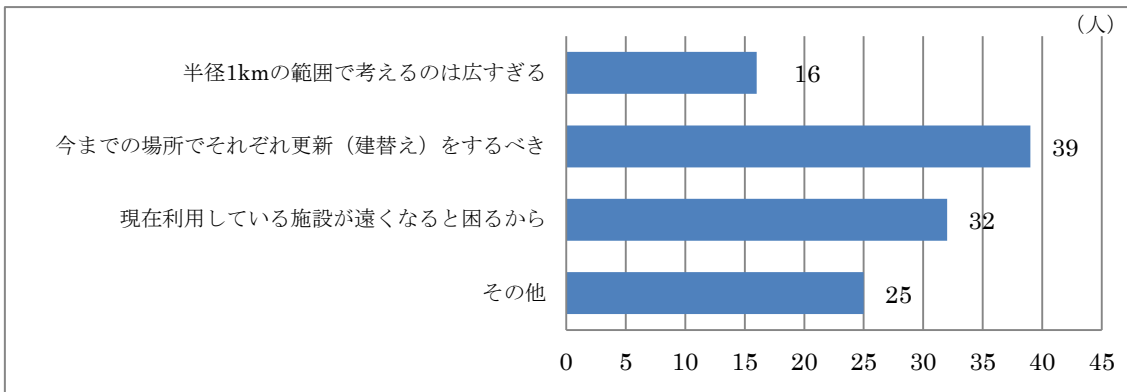
VI 適正配置の取り組みについて

問 16. 別添の説明資料のように、15 の圏域内での再配置検討についてどう思いますか。

1 賛成 2 反対



問 17. 前記問 16. で 2 反対 と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



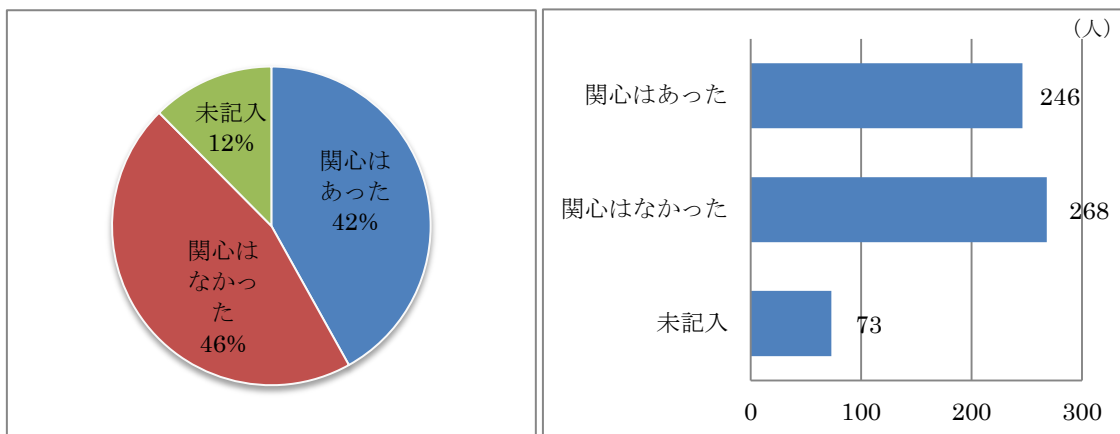
→ 問 16、問 17 の回答から…

■ 15 の圏域内での再配置検討については概ね賛成

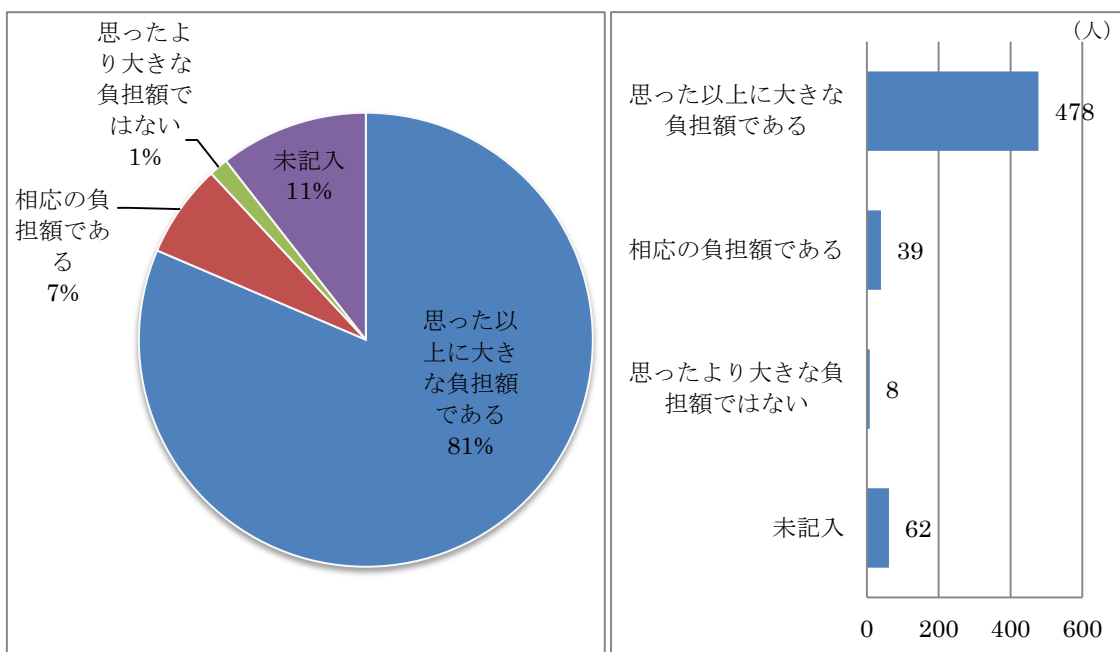
取り組みについて聞いたところ、賛成は 65%、反対は 16%でした。反対の理由としては、「今までの場所でそれぞれ更新 (建替え) をするべき」と考えている人が 39 人で最も多く、次いで「現在利用している施設が遠くなると困るから」が 32 人となっています。

これらの回答から見えるのは、この取り組みを行うことで、現状より少しでも不便になるのはやめてほしいという考えがあることです。場合によっては、今まで隣にあった施設が離れたところに移ってしまうということが発生しますが、それまでの利便性には十分配慮しつつ、機能集約による利便性の高い施設として整備していくよう検討を進めます。

問 18. 公共施設を維持管理するには、税金をはじめ、多くの財源が費やされています。このことについて、今まで関心はありましたか。



問 19. 別添の説明資料によれば、現在、公共施設の維持管理に掛けられている費用は年約 14 億 8 千万円（市民 1 人あたり年約 7 万 4 千円）です。ところが、全ての施設をこのまま維持するとすれば、その費用は年約 35 億 6 千万円*（市民 1 人あたり年約 17 万 8 千円）が必要となります。これらの差額（市民 1 人あたり年約 10 万 4 千円）を財源として新たに捻出する必要がありますが、このことについてどう思いますか。



* 当アンケート実施時では粗い試算による金額でしたが、精査した結果、年 36 億 5 千万円が必要となることがわかりました。

→ 問 18、問 19 の回答から…

■ **公共施設の維持管理費に関心があったのは約半数だが、維持管理に掛けられている費用についてはほとんどの人が大きな負担と認識**

公共施設の維持管理費について関心があったかを聞いたところ、「関心はあった」は 42%、「関心はなかった」は 46%でした。ただ、維持管理に掛けられている費用の確保には、まだまだ多くの財源を捻出する必要がある状況を示したところ、それについては「思った以上に大きな負担額である」と考えている人が 478 人と、全体の 81%を占めました。

これらの回答から見えるのは、維持管理費には大きな費用が掛かるということに対しては、ある程度は想定しつつも、実際は想像以上に深刻な状況であるにもかかわらず、その事実が周知されていないということです。維持管理費について関心がなかった人が約半数いるという現状を踏まえ、公共施設に関する各種データについては積極的な公開に努め、市民とともにこの問題を考えていかなければなりません。

問 20. 最後に、公共施設全般についての考えを、自由にご記入ください。

【その他の主な意見】 ※ 原文を抜粋、一部文言等の修正あり。

20 年後、維持管理費が高額となることにつき、現在勤めておられる市の職員、議員の皆様が「他人事」と思っておられるかもしれないことが不安です。費用が増えれば市民に対して負担を求めるという対応の前に、市の現在の事業上のコスト、支出の見直しを進めて頂きたい。

生まれて 20 年しか経っていませんが、これまでの岸和田の公共施設は岸和田市立図書館を主に使用していました。もっと自由に勉強できる環境が欲しいのと、色々なボランティア活動をして、あらゆる世代の人達と関わりたいです。

公共施設を使っている人が限られていて、皆が使用しているとは思えない。

絶対に必要な物はいいが、いわゆる箱物と呼ばれる施設は作るべきではない。後に管理費もいる。

中身の薄い施設をたくさん作るより、中身の濃い施設が数少なくある方が 1 カ所に人が集まり、そこで全てがまかなえ、又、他の事にも関心が持てるのではないのでしょうか。人件費も少なくてすみませんか。維持費と人件費はずっとついてまわるものなので少ない方が良いと思います。

カジノは遠からず認められる。マカオ、シンガポールを参考にし、維持管理費の面で解消し、先の見通しをこれに求め、警護、防犯対策を万全に期す。池や海岸も当市には有り、第 11 圏域～第 14 圏域にも作り得るのではないか。発想の転換をしようぜ!!

本当に必要なのか考え、各町に会館があるのでそれを利用してはどうですか。

公民館ってそんなに必要なのかな…。公民館がきれいになるたびに思います。公民館って、ほとんど決まった人しか利用してないと思う。

行政の移り変わりが早い為、いつでも近くに相談できる施設が必要である。身近で変わった事を知らない人々が多すぎる。

<p>財源の確保が必要というが、市役所職員の努力が足りない。給与体系から見直すべき。市役所職員は全員岸和田市に住所を置き、住民税を徴収すればよい。交通費支給の負担も少なくなるのでは？「これだけかかります」だけじゃ話にならない。</p>
<p>いち早く適正な配置を行ない、支出が最小限となるよう、行政を行って下さい。</p>
<p>公共施設はなるべく少なくし、民間の施設（コンビニ等）を利用して行くべきだ。</p>
<p>民間に維持管理をしてもらえば安くなるのでは？安くなる方法を再検討した方が良い。</p>
<p>公民館は、利用する人と利用しない人にはっきり分かれているように思う。全般として、老人のための施設となっている感じがする。現役世代の利用は非常に少ないと思う。費用負担の公平性に問題が出来る。施設の数減らす。有料にする。（どちらも難しいね。）</p>
<p>維持費削減をしても、出来るだけサービス低下にならない様に希望。</p>
<p>市役所の建替えをはじめ、行政が施設整備するのではなく、行政サービスで機能の整理の観点を踏まえ、民間施設に行政機能（施設）を持たせ、建設費用、賃借費用の削減を考えて欲しい。その上で適正配置を考えてほしい。</p>
<p>従来のように、すべての公共サービスを税金により無料でまかなう考えには限界が来ていると考えます。受益者負担の原則を適用し、施設を利用する利用者から一定の費用対価を収受し、サービスを受けない者との間の不公平を解消すべきと考えます。</p>
<p>長年（5年以内）で、公共施設で赤字が出ている所はすべて閉鎖すべき。生半可に続けても期待出来ない。少数の人が満足して継続しても、全体的に見て考慮すべき。会社では経営破たんになるはず。これ以上市民税を増やすべきではない。</p>
<p>年齢的に高齢になり、利用出来なくなった為に残念ですが、若い年代の為に施設は必要です。</p>
<p>今、私は公民館を利用するより、町会館を利用することが多いです。各地域の町会館を有効利用することにより、公民館の機能を町会館に移すことは可能ではないでしょうか。学校施設についても有効利用するための方策を考えて頂きますようお願いいたします。ただ、なくてはならない施設もあります。私にとっては心技館がそれです。</p>
<p>小さい公共施設、人の出入りの少ない施設は人件費なども考え、公園などにする方が良い。公園などで高齢者、幼児などの遊べるイベントをすれば良い。プレハブなどの簡単な建物ですむ。</p>
<p>いたずらに公共施設を増やすのではなく、施設そのものが何らかの収益をあげる仕組みになる必要があると感じた。</p>
<p>もっと公共施設全般を見直して、利用の少ない所は近くと統合するなど、スマート化が必要。女性センターって何をするといいところ？女性やけど行ったコトないし。</p>
<p>予算的には公共施設は削減していく方向で、機能集約施設の充実及びボランティアの育成、並びに活用方法（ボランティア人に生き甲斐を抱かせるような）に重点をおいた政策が必要だと思う。私達の世代は、お互いに助け合う精神がごく自然にあり、日本人の心の優しさだと思いきてきた。</p>
<p>役所の人間は税金をムダ使いしすぎ。民間企業の感覚でもっと経営として上手に市民の為に運営してほしい。公共施設を必要とする市民がいる限りもっと努力すべき！</p>

少子高齢化に伴う財源不足が今後増大することが明白である中で、聖域なき見直しが必要（だんじり会館、浪切ホールも含めて）である。思いきったコスト削減を図るべきである。その上で必要な施設を維持させる必要がある。

公共施設というのは、本来誰しものが利用できるのであるが、生活上、利用の必要が無い人も多く、公共施設利用者には、“頻繁に利用する人”と“全く利用しない人”の偏りがあると思う。利用する機会が無いのに、維持の為に増税となると反対です。公共施設を建て替える前に、すべての人が利用できるような施設を考える事が先決ではないかと思います。

市議会議員に多数の人数がおります。その方達の人数を減らして、公共施設等の費用に出来ないのか。人件費の削減はどの企業もしています。職員さんの経費の節約等、市民の税金に頼るばかりでは協力が得られないと思います。

いかに費用をかけずに転用するのが腕の見せ所。そもそも公的な改築費用等は高すぎる。発想は柔軟にして、これまでの当たり前にこだわる必要はない。

まず、地域の中核的施設としての市民センターのあり方を見直すべきである。市民センターを本来の生涯学習・地域コミュニティの拠点として、公民館と図書館の複合施設というメリットを生かし充実させるべきだ。何より職員体制を充実し、地域の中に入り各公民館との連携を図ること。ある程度の統廃合はやむを得ないが、全体としての質の向上につながるようにしてほしい。東岸和田市民センターは利用しにくい。サービスセンターだけを残しても良いが、別の場所に設置してほしい。

近くに市民センターがあり、助かっている。

利用する人とそうでない人の頻度に差がありすぎるので、一言では言えない。公費なので節約は大切だが、災害時には拠点として必要になるので、減らせば良いというわけにはいかないと思う。

サークル活動で利用している人達から、使用料をもっと取るべきである。図書館の前に利用箱を置くべきだ。

今、大きな社会の変化にともない、公共施設を見直すことは有益なこと。ありがたい。公共施設の利用者（市民）はどれだけ利用しているのか（たぶん減っていると思われる）。又、必要性を考えているのか。1人につき差額年約10万4千円を出して利用する価値はあるのか？もっとこの費用を有効に市民に使えないのか？どうしてこんなに維持費がかかるのか？わかりませんが、もっと多くの市民とともに考えていくべき。そして早急に手を打っていくべき課題ですね。

公共施設は、やはり子供から大人までみんなにとって大切な物だと思うけど、維持費用などを知ってかなり驚きました。色々考えると、かなり難しい問題だなと思います。無くては困るし、あり過ぎても…ですね。

利用時間をもう少し遅くする（18時ぐらいまで）。職員の人員を減らし利用者ができるセルフで利用してはどうか。

岸和田では町単位での活動が活発なので、公民館などは極力減らした方が良いと思う。

公共施設において利用度の少ない所は出来る限りの削減が必要。公務員の天下りを少なくし、民間の安い所に委託すべきではないのか！

— 以 上 —

(編集)

作成:岸和田市総務部公共施設マネジメント課

住所:岸和田市岸城町7番1号

電話:072-447-4581

Email:koukyoum@city.kishiwada.osaka.jp